

---

平成 28 年度

県政世論調査  
(概要版)

香川県

---

---

---

---

---

---

---

## 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査目的 .....	1
2. 調査項目 .....	1
3. 調査設計 .....	1
4. 回収状況 .....	1
5. サンプル設計 .....	1
6. 報告書の見方 .....	2
<b>第2章 調査回答者の属性</b> .....	<b>3</b>
1. 性別 .....	3
2. 年齢 .....	3
3. 職業 .....	4
4. 圏域 .....	4
5. 居住年数 .....	5
<b>第3章 調査の集計結果</b> .....	<b>7</b>
1. ボランティア・NPO活動について .....	7
2. 男女共同参画について .....	16
3. 消費生活について .....	25
4. 食品廃棄物について .....	31
5. 高齢者の保健福祉について .....	37
6. 県政の重要度と満足度について .....	45

---

---

---

---

---

---

---

---

## <第1章 調査の概要>

---

---

---

---

---

---

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査目的

県政の諸問題について、県民の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とすることを目的とする。

### 2. 調査項目

- (1) ボランティア・NPO活動について
- (2) 男女共同参画について
- (3) 消費生活について
- (4) 食品廃棄物について
- (5) 高齢者の保健福祉について
- (6) 県政の重要度と満足度について

### 3. 調査設計

- (1) 調査地域 香川県全域
- (2) 調査対象 満20歳以上の県民
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 平成28年6月10日～7月1日

### 4. 回収状況

- (1) 標本数 3,000
- (2) 有効回収数 1,639 (54.6%)

### 5. サンプル設計

- (1) 母集団 香川県内の市町に居住する満20歳以上の県民
- (2) 標本数 3,000
- (3) 地点数 150地点(市部：125地点、町部：25地点)
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

#### 【層化】

県内の市町(8市9町)を次のように5圏域に分類した。

圏域名	構成市町
1 高松圏域	高松市・三木町・直島町・綾川町
2 東讃圏域	さぬき市・東かがわ市
3 小豆圏域	土庄町・小豆島町
4 中讃圏域	丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町
5 西讃圏域	観音寺市・三豊市

さらに、各圏域内を市町の規模によって、

- ①高松市 ②高松市以外の市 ③町 に分類して、それぞれを層とした。

**【 標本数の配分 】**

各層における母集団数（平成28年3月2日現在の選挙人名簿登録者数）の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

**【 抽出 】**

- ①第1次抽出単位となる調査地点として、平成28年3月2日現在の投票区を使用した。
- ②調査地点数については、1調査地点あたりの標本数が20前後になるように、各層に割り当てられた標本数から算出して決定した。
- ③調査地点の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

$$\left( \frac{\text{層における選挙人名簿登録者数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$

を算出し、等間隔抽出法により該当番目が含まれる投票区を抽出した。

- ④抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、総務省設定の市町村コードに従った。
- ⑤調査地点における対象者の抽出は、調査地点（投票区）内から選挙人名簿によって等間隔抽出法で抽出した。
- ⑥以上の結果、圏域別・市町規模別における標本数・調査地点数は次のとおりである。

**【 圏域別・市町規模別 標本数および調査地点数 】** 上段:母集団数 下段:標本数、()内は調査地点数

圏域 \ 市町別	高松市	高松市以外の市	町	計
1 高松圏域	345,803 1,270 (63)		46,603 172 (9)	392,406 1,442 (72)
2 東讃圏域		70,440 259 (13)		70,440 259 (13)
3 小豆圏域			26,032 95 (4)	26,032 95 (4)
4 中讃圏域		162,743 598 (30)	57,357 211 (12)	220,100 809 (42)
5 西讃圏域		107,504 395 (19)		107,504 395 (19)

**6. 報告書の見方**

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。  
このために、百分比の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示しています。このために、その比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (4) 本文、図表、集計表に用いた符号等の意味は次の通りです。

N：質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数



---

---

## <第2章 調査回答者の属性>

---

---

---

---

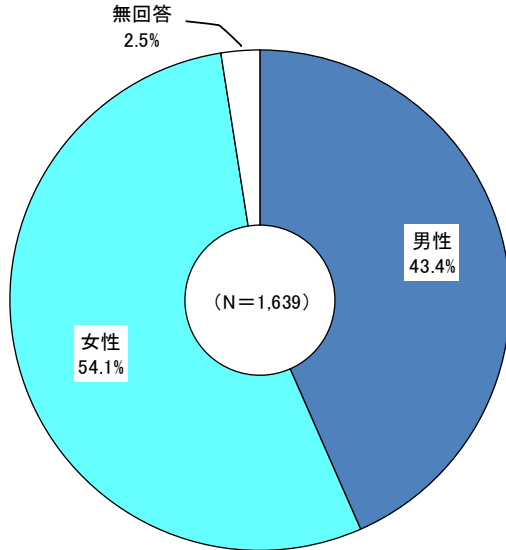
---

---

## 第2章 調査回答者の属性

### 1. 性別

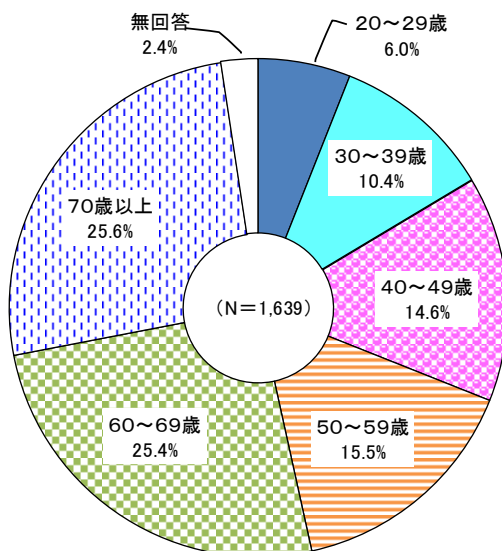
性別について、「男性」(43.4%)、「女性」(54.1%)となっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
男性	712	43.4
女性	886	54.1
(無回答)	41	2.5
計	1,639	100.0

### 2. 年齢

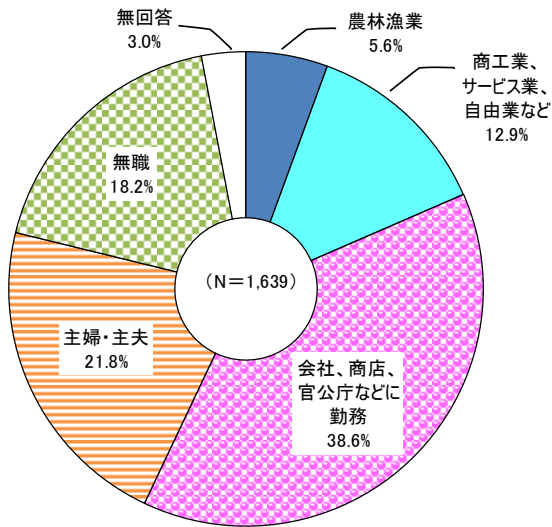
年齢について、「70歳以上」(25.6%)が最も多く、次いで「60～69歳」(25.4%)、「50～59歳」(15.5%)、「40～49歳」(14.6%)などとなっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
20～29歳	98	6.0
30～39歳	171	10.4
40～49歳	240	14.6
50～59歳	254	15.5
60～69歳	417	25.4
70歳以上	419	25.6
(無回答)	40	2.4
計	1,639	100.0

### 3. 職業

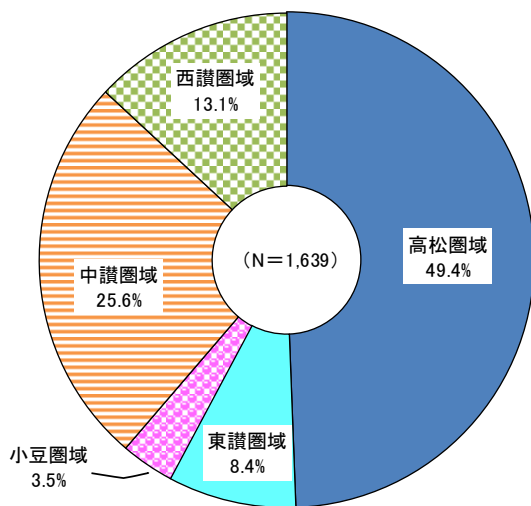
職業について、「会社、商店、官公庁などに勤めている」(38.6%)が最も多く、次いで「主婦・主夫」(21.8%)、「無職」(18.2%)、「商工業、サービス業、自由業などを営んでいる」(12.9%)などとなっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
農林漁業	91	5.6
商工業、サービス業、自由業など	211	12.9
会社、商店、官公庁などに勤務	632	38.6
主婦・主夫	357	21.8
無職	299	18.2
(無回答)	49	3.0
計	1,639	100.0

### 4. 圏域

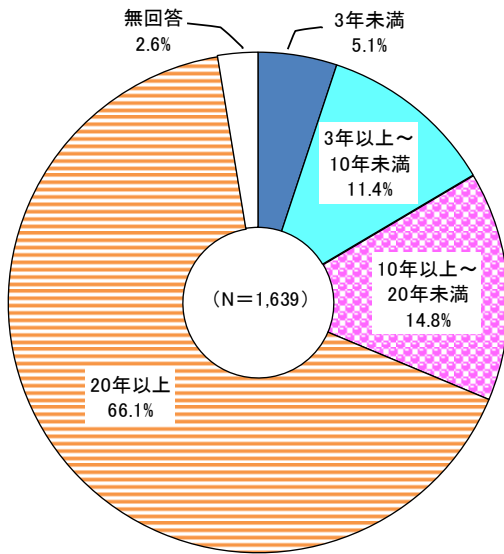
圏域について、「高松圏域」(49.4%)が最も多く、次いで「中讃圏域」(25.6%)、「西讃圏域」(13.1%)、「東讃圏域」(8.4%)などとなっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
高松圏域	810	49.4
東讃圏域	138	8.4
小豆圏域	57	3.5
中讃圏域	419	25.6
西讃圏域	215	13.1
(無回答)	0	0.0
計	1,639	100.0

## 5. 居住年数

居住年数について、「20年以上」(66.1%)が最も多く、次いで「10年以上～20年未満」(14.8%)、「3年以上～10年未満」(11.4%)、「3年未満」(5.1%)などとなっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
3年未満	84	5.1
3年以上～10年未満	187	11.4
10年以上～20年未満	243	14.8
20年以上	1,083	66.1
(無回答)	42	2.6
計	1,639	100.0



---

---

## <第3章 調査の集計結果>

---

---

---

---

---

---



## 第3章 調査の集計結果

### 1. ボランティア・NPO活動について

#### (1) ボランティアやNPO活動に対する関心度

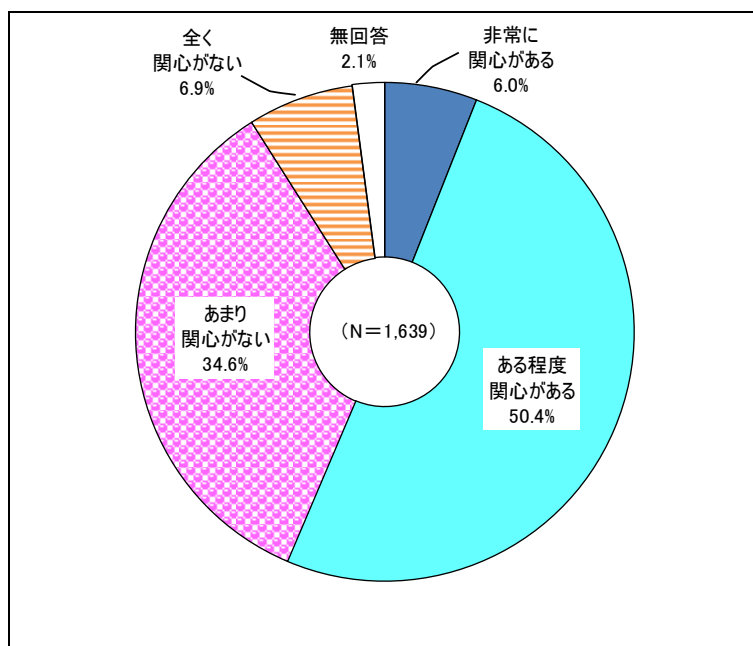
問1 あなたは、ボランティアやNPO活動にどの程度関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,639】

1 非常に関心がある	6.0%
2 ある程度関心がある	50.4%
3 あまり関心がない	34.6%
4 全く関心がない	6.9%
(無回答)	2.1%

ボランティアやNPO活動に対する関心度について、「ある程度関心がある」(50.4%)が最も多く、次いで「あまり関心がない」(34.6%)、「全く関心がない」(6.9%)、「非常に関心がある」(6.0%)などとなっている。

図表 1-(1)-1 ボランティアやNPO活動に対する関心度



(2) ボランティアやNPO活動の経験の有無

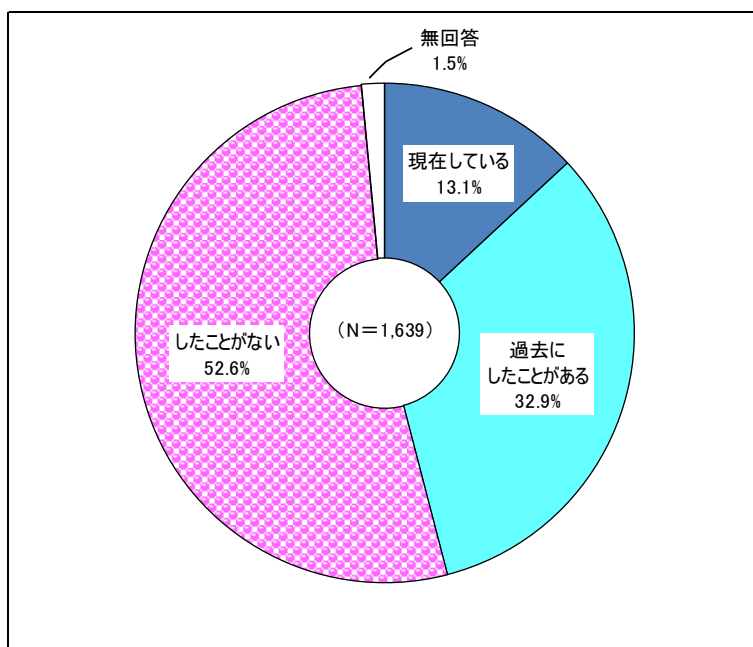
問2 あなたは、これまでにボランティアやNPO活動をしたことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,639】

1 現在している	⇒ 付問1にお進みください	13.1%
2 過去にしたことがある	⇒ 付問1および付問3にお進みください	32.9%
3 したことがない	⇒ 付問2および付問3にお進みください	52.6%
(無回答)		1.5%

ボランティアやNPO活動の経験の有無について、「したことがない」(52.6%)が最も多く、次いで「過去にしたことがある」(32.9%)、「現在している」(13.1%)などとなっている。

図表 1-(2)-1 ボランティアやNPO活動の経験の有無



(3) これまでに経験があるボランティアやNPO活動

【問2で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問1 あなたがこれまでにしたことがあるボランティアやNPO活動を次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

【回答者数=753】

1	保健・医療・福祉関係（献血、介護ボランティアなどの高齢者支援活動、手話・点訳などの障害者支援活動など）	42.1%
2	社会教育関係（生涯学習、生きがいつくり支援活動など）	10.4%
3	まちづくり関係（地域おこし活動、自治会・町内会の活動など）	60.7%
4	観光の振興関係（観光ボランティアなど）	4.1%
5	農山漁村の振興関係（農作業の援助など）	5.3%
6	学術・文化・芸術・スポーツ関係（PTA活動、美術館・図書館等でのボランティア活動、スポーツ教室の指導など）	29.3%
7	環境保全関係（道路のゴミ拾いなどの環境美化活動、花いっぱい運動などの緑化活動、緑の募金など）	55.9%
8	災害救援関係（災害時のボランティア活動、救援物資の提供、募金など）	25.6%
9	地域安全関係（交通安全・防犯活動、更生支援活動、自主防災活動など）	26.4%
10	人権擁護・平和の推進関係（家庭内暴力や差別問題解消活動など）	2.5%
11	国際交流・協力関係（通訳、留学生支援、海外支援活動、募金など）	8.5%
12	男女共同参画関係（女性の自立支援活動、DV防止活動など）	2.1%
13	子どもの健全育成関係（子ども会、子育てサロンや乳幼児の世話などの子育て支援、青少年非行防止活動など）	26.0%
14	情報化社会の発展関係（パソコン技能やIT（情報通信技術）の普及活動など）	0.8%
15	科学技術の振興関係（科学技術の普及活動など）	0.1%
16	経済活動の活性化関係（起業の支援、商店街の活性化活動など）	1.3%
17	職業能力の開発、雇用機会の拡充・支援関係（就職支援、障害者の雇用支援活動など）	1.6%
18	消費者保護関係（消費者教育・学習、商品知識や消費者被害防止の普及活動など）	0.5%
19	ボランティアやNPO活動支援関係（ボランティア・NPOに関する相談や活動紹介など）	3.3%
20	その他（具体的に： )	2.9%
	（無回答）	1.5%

これまでに経験があるボランティアやNPO活動について、「まちづくり関係」（60.7%）が最も多く、次いで「環境保全関係」（55.9%）、「保健・医療・福祉関係」（42.1%）、「学術・文化・芸術・スポーツ関係」（29.3%）などとなっている。

図表 1-(3)-1 これまでに経験があるボランティアやNPO活動

		回答数
全体	100.0	753 人
(1)	保健・医療・福祉関係(献血、介護ボランティアなどの高齢者支援活動、手話・点訳などの障害者支援活動など)	317 人
(2)	社会教育関係(生涯学習、生きがいづくり支援活動など)	78 人
(3)	まちづくり関係(地域おこし活動、自治会・町内会の活動など)	457 人
(4)	観光の振興関係(観光ボランティアなど)	31 人
(5)	農山漁村の振興関係(農作業の援助など)	40 人
(6)	学術・文化・芸術・スポーツ関係(PTA活動、美術館・図書館等でのボランティア活動、スポーツ教室の指導など)	221 人
(7)	環境保全関係(道路のゴミ拾いなどの環境美化活動、花いっぱい運動などの緑化活動、緑の募金など)	421 人
(8)	災害救援関係(災害時のボランティア活動、救援物資の提供、募金など)	193 人
(9)	地域安全関係(交通安全・防犯活動、更生支援活動、自主防災活動など)	199 人
(10)	人権擁護・平和の推進関係(家庭内暴力や差別問題解消活動など)	19 人
(11)	国際交流・協力関係(通訳、留学生支援、海外支援活動、募金など)	64 人
(12)	男女共同参画関係(女性の自立支援活動、DV防止活動など)	16 人
(13)	子どもの健全育成関係(子ども会、子育てサロンや乳幼児の世話などの子育て支援、青少年非行防止活動など)	196 人
(14)	情報化社会の発展関係(パソコン技能やIT(情報通信技術)の普及活動など)	6 人
(15)	科学技術の振興関係(科学技術の普及活動など)	1 人
(16)	経済活動の活性化関係(起業の支援、商店街の活性化活動など)	10 人
(17)	職業能力の開発、雇用機会の拡充・支援関係(就職支援、障害者の雇用支援活動など)	12 人
(18)	消費者保護関係(消費者教育・学習、商品知識や消費者被害防止の普及活動など)	4 人
(19)	ボランティアやNPO活動支援関係(ボランティア・NPOに関する相談や活動紹介など)	25 人
(20)	その他	22 人
無回答	1.5	11 人

グラフ単位：(%)

(4) ボランティアやNPO活動をしたことがない理由

【問2で「3」と答えた方にお聞きします】

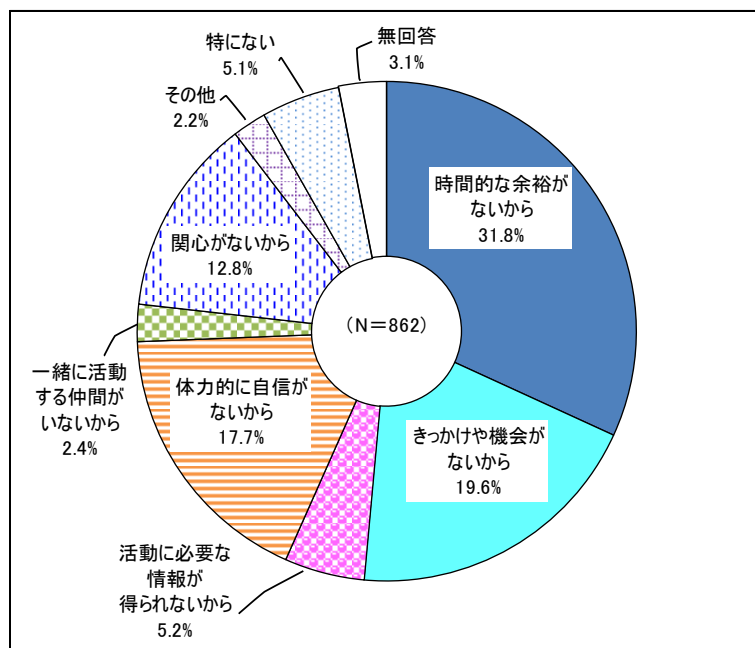
付問2 あなたがボランティアやNPO活動をしたことがない理由を、次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=862】

1	時間的な余裕がないから	31.8%
2	きっかけや機会がないから	19.6%
3	活動に必要な情報が得られないから	5.2%
4	体力的に自信がないから	17.7%
5	一緒に活動する仲間がいないから	2.4%
6	関心がないから	12.8%
7	その他（具体的に： )	2.2%
8	特にない	5.1%
	(無回答)	3.1%

ボランティアやNPO活動をしたことがない理由について、「時間的な余裕がないから」(31.8%)が最も多く、次いで「きっかけや機会がないから」(19.6%)、「体力的に自信がないから」(17.7%)、「関心がないから」(12.8%)などとなっている。

図表 1-(4)-1 ボランティアやNPO活動をしたことがない理由



(5) 今後、ボランティアやNPO活動をしたいと思うか

【問2で「2」または「3」と答えた方にお聞きします】

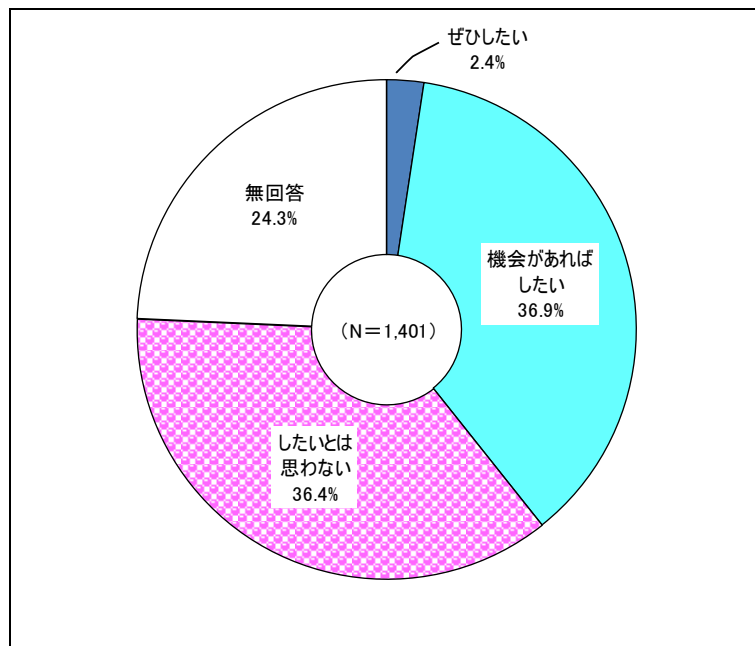
付問3 あなたは、今後ボランティアやNPO活動をしたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,401】

1	ぜひしたい	2.4%
2	機会があればしたい	36.9%
3	したいとは思わない	36.4%
	(無回答)	24.3%

今後、ボランティアやNPO活動をしたいと思うかについて、「機会があればしたい」(36.9%)が最も多く、次いで「したいとは思わない」(36.4%)、「ぜひしたい」(2.4%)などとなっている。

図表 1-(5)-1 今後、ボランティアやNPO活動をしたいと思うか



(6) 今後、してみたいボランティアやNPO活動

【付問3で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問3.1 今後してみたいボランティアやNPO活動を問2付問1の1～20までの活動分野から2つまで選んで、番号を記入してください。

①ぜひしたいと回答した人の希望する活動分野【回答者数=33】

②機会があればしたいと回答した人の希望する活動分野【回答者数=517】

	①	②
1 保健・医療・福祉関係（献血、介護ボランティアなどの高齢者支援活動、手話・点訳などの障害者支援活動など）	21.2%	21.7%
2 社会教育関係（生涯学習、生きがいつくり支援活動など）	12.1%	9.3%
3 まちづくり関係（地域おこし活動、自治会・町内会の活動など）	24.2%	25.1%
4 観光の振興関係（観光ボランティアなど）	12.1%	9.7%
5 農山漁村の振興関係（農作業の援助など）	15.2%	5.4%
6 学術・文化・芸術・スポーツ関係（PTA活動、美術館・図書館等でのボランティア活動、スポーツ教室の指導など）	18.2%	14.5%
7 環境保全関係（道路のゴミ拾いなどの環境美化活動、花いっぱい運動などの緑化活動、緑の募金など）	24.2%	24.4%
8 災害救援関係（災害時のボランティア活動、救援物資の提供、募金など）	15.2%	21.1%
9 地域安全関係（交通安全・防犯活動、更生支援活動、自主防災活動など）	6.1%	7.7%
10 人権擁護・平和の推進関係（家庭内暴力や差別問題解消活動など）	3.0%	1.9%
11 国際交流・協力関係（通訳、留学生支援、海外支援活動、募金など）	6.1%	3.7%
12 男女共同参画関係（女性の自立支援活動、DV防止活動など）	0.0%	1.7%
13 子どもの健全育成関係（子ども会、子育てサロンや乳幼児の世話などの子育て支援、青少年非行防止活動など）	6.1%	15.3%
14 情報化社会の発展関係（パソコン技能やIT（情報通信技術）の普及活動など）	6.1%	3.9%
15 科学技術の振興関係（科学技術の普及活動など）	0.0%	2.1%
16 経済活動の活性化関係（起業の支援、商店街の活性化活動など）	0.0%	1.5%
17 職業能力の開発、雇用機会の拡充・支援関係（就職支援、障害者の雇用支援活動など）	3.0%	1.5%
18 消費者保護関係（消費者教育・学習、商品知識や消費者被害防止の普及活動など）	0.0%	2.3%
19 ボランティアやNPO活動支援関係（ボランティア・NPOに関する相談や活動紹介など）	3.0%	1.2%
20 その他（具体的に： )	6.1%	0.8%
（無回答）	3.0%	8.3%

今後ぜひしたいボランティアやNPO活動について、「まちづくり関係」、「環境保全関係」が同率（24.2%）で最も多く、次いで、「保健・医療・福祉関係」（21.2%）、「学術・文化・芸術・スポーツ関係」（18.2%）などとなっている。

図表 1-(6)-1 今後ぜひしたいボランティアやNPO活動

		回答数
全体	100.0	33 人
(1)	保健・医療・福祉関係（献血、介護ボランティアなどの高齢者支援活動、手話・点訳などの障害者支援活動など）  21.2	7 人
(2)	社会教育関係（生涯学習、生きがいつくり支援活動など）  12.1	4 人
(3)	まちづくり関係（地域おこし活動、自治会・町内会の活動など）  24.2	8 人
(4)	観光の振興関係（観光ボランティアなど）  12.1	4 人
(5)	農山漁村の振興関係（農作業の援助など）  15.2	5 人
(6)	学術・文化・芸術・スポーツ関係（PTA活動、美術館・図書館等でのボランティア活動、スポーツ教室の指導など）  18.2	6 人
(7)	環境保全関係（道路のゴミ拾いなどの環境美化活動、花いっぱい運動などの緑化活動、緑の募金など）  24.2	8 人
(8)	災害救援関係（災害時のボランティア活動、救援物資の提供、募金など）  15.2	5 人
(9)	地域安全関係（交通安全・防犯活動、更生支援活動、自主防災活動など）  6.1	2 人
(10)	人権擁護・平和の推進関係（家庭内暴力や差別問題解消活動など）  3.0	1 人
(11)	国際交流・協力関係（通訳、留学生支援、海外支援活動、募金など）  6.1	2 人
(12)	男女共同参画関係（女性の自立支援活動、DV防止活動など）  0.0	0 人
(13)	子どもの健全育成関係（子ども会、子育てサロンや乳幼児の世話などの子育て支援、青少年非行防止活動など）  6.1	2 人
(14)	情報化社会の発展関係（パソコン技能やIT（情報通信技術）の普及活動など）  6.1	2 人
(15)	科学技術の振興関係（科学技術の普及活動など）  0.0	0 人
(16)	経済活動の活性化関係（起業の支援、商店街の活性化活動など）  0.0	0 人
(17)	職業能力の開発、雇用機会の拡充・支援関係（就職支援、障害者の雇用支援活動など）  3.0	1 人
(18)	消費者保護関係（消費者教育・学習、商品知識や消費者被害防止の普及活動など）  0.0	0 人
(19)	ボランティアやNPO活動支援関係（ボランティア・NPOに関する相談や活動紹介など）  3.0	1 人
(20)	その他  6.1	2 人
無回答	 3.0	1 人

グラフ単位：（%）



今後機会があればしたいボランティアやNPO活動について、「まちづくり関係」(25.1%)が最も多く、次いで「環境保全関係」(24.4%)、「保健・医療・福祉関係」(21.7%)などとなっている。

図表 1-(6)-2 今後機会があればしたいボランティアやNPO活動

		回答数
全体	100.0	517 人
(1)	保健・医療・福祉関係(献血、介護ボランティアなどの高齢者支援活動、手話・点訳などの障害者支援活動など)	112 人
(2)	社会教育関係(生涯学習、生きがいづくり支援活動など)	48 人
(3)	まちづくり関係(地域おこし活動、自治会・町内会の活動など)	130 人
(4)	観光の振興関係(観光ボランティアなど)	50 人
(5)	農山漁村の振興関係(農作業の援助など)	28 人
(6)	学術・文化・芸術・スポーツ関係(PTA活動、美術館・図書館等でのボランティア活動、スポーツ教室の指導など)	75 人
(7)	環境保全関係(道路のゴミ拾いなどの環境美化活動、花いっぱい運動などの緑化活動、緑の募金など)	126 人
(8)	災害救援関係(災害時のボランティア活動、救援物資の提供、募金など)	109 人
(9)	地域安全関係(交通安全・防犯活動、更生支援活動、自主防災活動など)	40 人
(10)	人権擁護・平和の推進関係(家庭内暴力や差別問題解消活動など)	10 人
(11)	国際交流・協力関係(通訳、留学生支援、海外支援活動、募金など)	19 人
(12)	男女共同参画関係(女性の自立支援活動、DV防止活動など)	9 人
(13)	子どもの健全育成関係(子ども会、子育てサロンや乳幼児の世話などの子育て支援、青少年非行防止活動など)	79 人
(14)	情報化社会の発展関係(パソコン技能やIT(情報通信技術)の普及活動など)	20 人
(15)	科学技術の振興関係(科学技術の普及活動など)	11 人
(16)	経済活動の活性化関係(起業の支援、商店街の活性化活動など)	8 人
(17)	職業能力の開発、雇用機会の拡充・支援関係(就職支援、障害者の雇用支援活動など)	8 人
(18)	消費者保護関係(消費者教育・学習、商品知識や消費者被害防止の普及活動など)	12 人
(19)	ボランティアやNPO活動支援関係(ボランティア・NPOに関する相談や活動紹介など)	6 人
(20)	その他	4 人
	無回答	43 人

グラフ単位：(%)

## 2. 男女共同参画について

### (1) 家庭生活と家族観(男女の役割)について

問3 家庭生活と家族観(男女の役割)について、あなたはどのようにお考えですか。

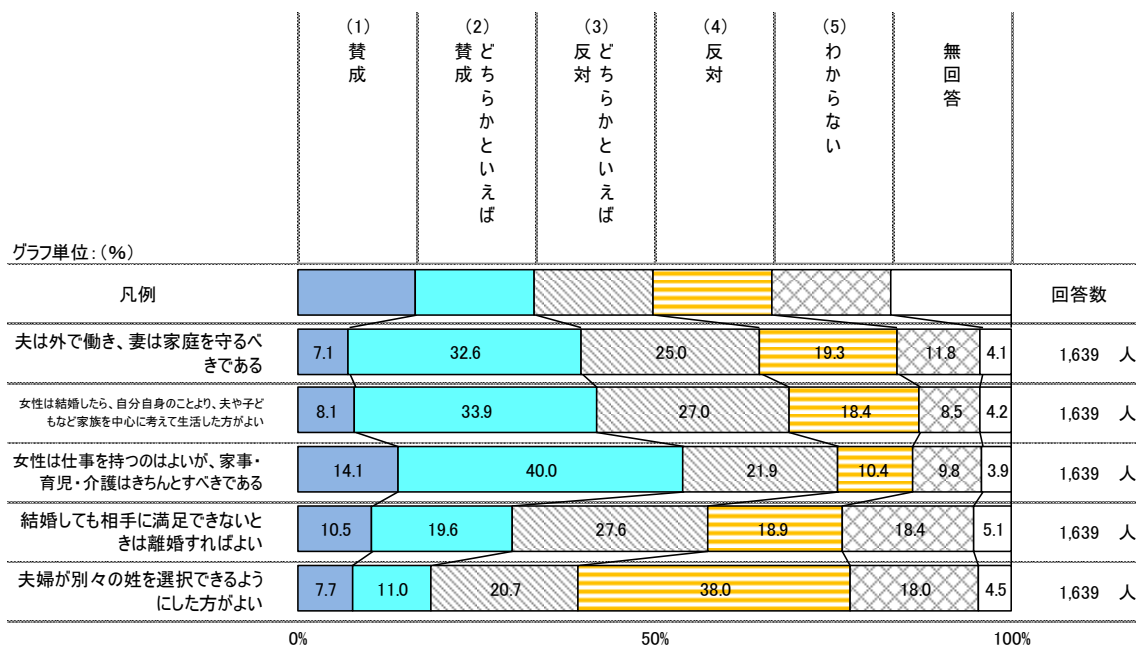
それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

【回答者数=1,639】

項目	①賛成	②どちらかといえば賛成	③どちらかといえば反対	④反対	⑤わからない	無回答
1 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	7.1	32.6	25.0	19.3	11.8	4.1
2 女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい	8.1	33.9	27.0	18.4	8.5	4.2
3 女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児・介護はきちんとすべきである	14.1	40.0	21.9	10.4	9.8	3.9
4 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	10.5	19.6	27.6	18.9	18.4	5.1
5 夫婦が別々の姓を選択できるようにした方がよい	7.7	11.0	20.7	38.0	18.0	4.5

家庭生活と家族観(男女の役割)について、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、『女性は仕事を持つのはよいが、家事・育児・介護はきちんとすべきである』(54.1%)が最も多く、次いで『女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい』(42.0%)、『夫は外で働き、妻は家庭を守るべき』(39.7%)などとなっている。

図表 2-(1)-1 家庭生活と家族観(男女の役割)について



(2) 家庭での夫と妻の役割分担について<希望>

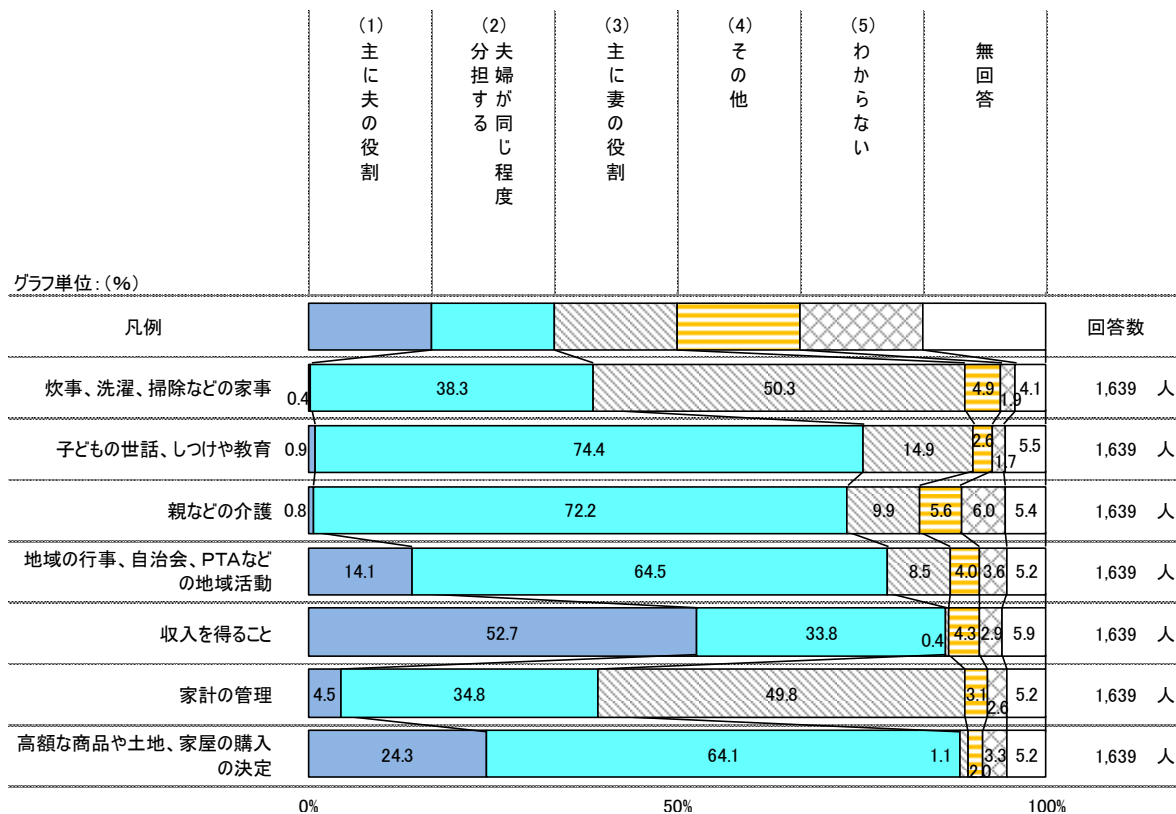
問4 家庭での夫と妻の役割分担について、あなたの希望に最も近いものはどれですか。それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

【回答者数=1,639】

項目	①主に夫の役割	②夫婦が同じ程度分担する	③主に妻の役割	④その他	⑤わからない	無回答
1 炊事、洗濯、掃除などの家事	0.4	38.3	50.3	4.9	1.9	4.1
2 子どもの世話、しつけや教育	0.9	74.4	14.9	2.6	1.7	5.5
3 親などの介護	0.8	72.2	9.9	5.6	6.0	5.4
4 地域の行事、自治会、PTAなどの地域活動	14.1	64.5	8.5	4.0	3.6	5.2
5 収入を得ること	52.7	33.8	0.4	4.3	2.9	5.9
6 家計の管理	4.5	34.8	49.8	3.1	2.6	5.2
7 高額な商品や土地、家屋の購入の決定	24.3	64.1	1.1	2.0	3.3	5.2

家庭での夫と妻の役割分担の希望について、「夫婦が同じ程度分担する」と回答した人の割合が最も高くなっているのは、「子どもの世話、しつけや教育」(74.4%)、「親などの介護」(72.2%)、「地域の行事、自治会、PTAなどの地域活動」(64.5%)、「高額な商品や土地、家屋の購入の決定」(64.1%)の4項目となっており、それぞれ7割程度となっている。

図表 2-(2)-1 家庭での夫と妻の役割分担について<希望>



(3) あなたの家庭での夫と妻の役割分担について<現状>

【現在、ご結婚されている方のみお答えください。】

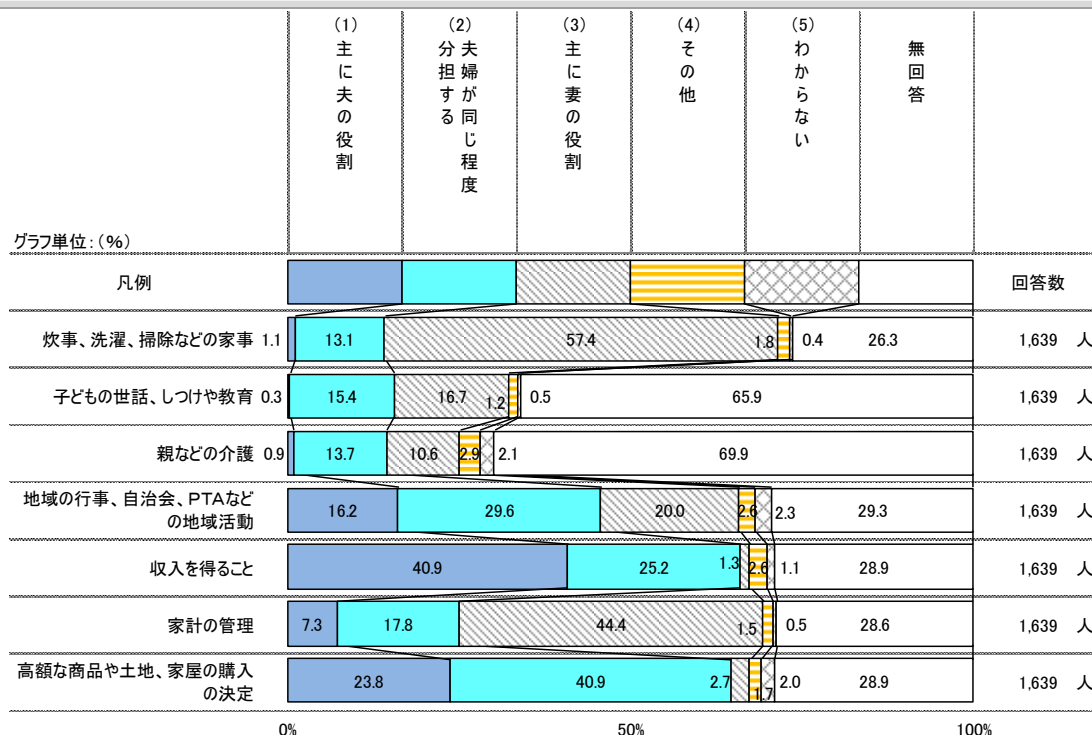
問5 あなたの家庭での夫と妻の役割分担について、現状に最も近いものはどれですか。それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

【回答者数=1,639】

項目	①主に夫の役割	②夫婦が同じ程度分担する	③主に妻の役割	④その他	⑤わからない	無回答
1 炊事、洗濯、掃除などの家事	1.1	13.1	57.4	1.8	0.4	26.3
2 子どもの世話、しつけや教育 (中学生以下の子どもがいる場合のみ回答)	0.3	15.4	16.7	1.2	0.5	65.9
3 親などの介護 (介護が必要とする方がいる場合のみ回答)	0.9	13.7	10.6	2.9	2.1	69.9
4 地域の行事、自治会、PTAなどの地域活動	16.2	29.6	20.0	2.6	2.3	29.3
5 収入を得ること	40.9	25.2	1.3	2.6	1.1	28.9
6 家計の管理	7.3	17.8	44.4	1.5	0.5	28.6
7 高額な商品や土地、家屋の購入の決定	23.8	40.9	2.7	1.7	2.0	28.9

家庭での夫と妻の役割分担の現状について、「夫婦が同じ程度分担する」と回答した人の割合が最も高くなっているのは、「高額な商品や土地、家屋の購入の決定」(40.9%)「地域の行事、自治会、PTAなどの地域活動」(29.6%)の2項目に減り、すべて5割を下回っている。

図表 2-(3)-1 あなたの家庭での夫と妻の役割分担について<現状>



(4) 男女の地位の平等さについて

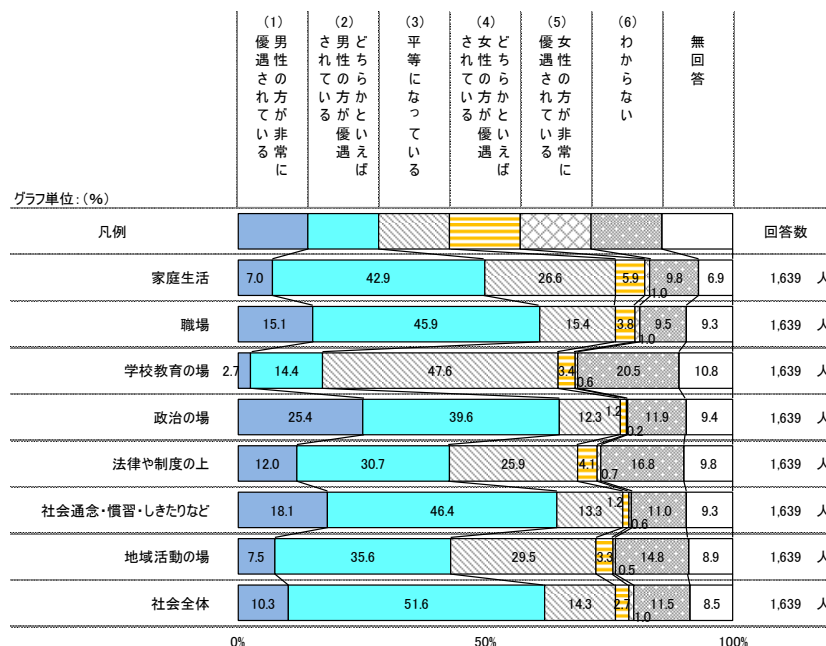
問6 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。  
それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

【回答者数=1,639】

項目	① 男性の方が非常に優遇されている	② どちらかといえば男性の方が優遇されている	③ 平等になっている	④ どちらかといえば女性の方が優遇されている	⑤ 女性の方が非常に優遇されている	⑥ わからない	無回答
1 家庭生活	7.0	42.9	26.6	5.9	1.0	9.8	6.9
2 職場	15.1	45.9	15.4	3.8	1.0	9.5	9.3
3 学校教育の場	2.7	14.4	47.6	3.4	0.6	20.5	10.8
4 政治の場	25.4	39.6	12.3	1.2	0.2	11.9	9.4
5 法律や制度の上	12.0	30.7	25.9	4.1	0.7	16.8	9.8
6 社会通念・慣習・しきたりなど	18.1	46.4	13.3	1.2	0.6	11.0	9.3
7 地域活動の場	7.5	35.6	29.5	3.3	0.5	14.8	8.9
8 社会全体	10.3	51.6	14.3	2.7	1.0	11.5	8.5

男女の地位の平等さについて、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた割合は『政治の場』(65.0%)が最も多く、次いで『社会通念・慣習・しきたりなど』(64.5%)となっている。「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた割合は全ての項目で1割にも満たない結果となっている。

図表 2-(4)-1 男女の地位の平等さについて



(5) 男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望とは違う選択をせざるを得なかったことはあるか

問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」、「男子生徒は理系、女子生徒は文系を選ぶべき」といった、男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望とは違う選択をせざるを得なかったことがありましたか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

【回答者数=1,639】

1 進学のとときにあった	7.5%
2 就職のとときにあった	10.3%
3 仕事を続けたかったが辞めざるを得なかったことがあった	14.1%
4 管理職等へ昇進したかったが、あきらめざるを得なかったことがあった	2.3%
5 その他（具体的に： ）	1.8%
6 特にない	68.3%
(無回答)	4.5%

男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望とは違う選択をせざるを得なかったことはあるかについて、「特にない」(68.3%)が最も多く、次いで「仕事を続けたかったが辞めざるを得なかったことがあった」(14.1%)、「就職のとときにあった」(10.3%)などとなっている。

図表 2-(5)-1 男女間の固定的な先入観を理由に、自分の希望とは違う選択をせざるを得なかったことはあるか

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	1,639 人
(1) 進学のとときにあった	7.5	123 人
(2) 就職のとときにあった	10.3	168 人
(3) 仕事を続けたかったが辞めざるを得なかったことがあった	14.1	231 人
(4) 管理職等へ昇進したかったが、あきらめざるを得なかったことがあった	2.3	38 人
(5) その他	1.8	29 人
(6) 特にない	68.3	1,120 人
無回答	4.5	73 人

グラフ単位：(%)

(6) 女性が職業を持つことについて

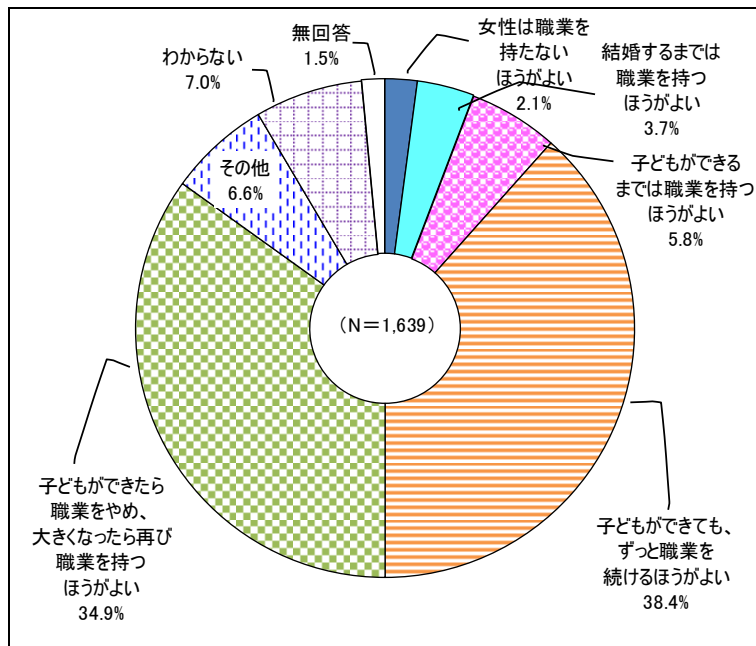
問8 あなたは、一般的に女性が職業を持つことについて、どう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,639】

1	女性は職業を持たないほうがよい	2.1%
2	結婚するまでは職業を持つほうがよい	3.7%
3	子どもができるまでは職業を持つほうがよい	5.8%
4	子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい	38.4%
5	子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい	34.9%
6	その他（具体的に： ）	6.6%
7	わからない	7.0%
	(無回答)	1.5%

女性が職業を持つことについて、「子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」(38.4%)が最も多く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」(34.9%)、「わからない」(7.0%)、「その他」(6.6%)などとなっている。

図表 2-(6)-1 女性が職業を持つことについて



(7) 企画立案や方針決定の過程に指導的立場の女性が少ない理由

問9 あなたは、企業や地域社会、また政治や行政において、企画立案や方針決定の過程に指導的立場の女性が少ない理由は何だと思いますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

【回答者数=1,639】

1	家庭、職場、地域における性別による固定的役割分担や性差別の意識	38.3%
2	男性優位の組織運営	54.3%
3	家族の支援や協力が得られない	34.3%
4	女性の能力開発やキャリアアップの機会が不十分	28.9%
5	女性の活動を支援するネットワークの不足	20.4%
6	女性側の積極性が十分でない	27.0%
7	女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない	38.4%
8	その他（具体的に： )	2.9%
9	わからない	10.0%
	(無回答)	3.0%

企画立案や方針決定の過程に指導的立場の女性が少ない理由について、「男性優位の組織運営」(54.3%)が最も多く、次いで「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」(38.4%)、「家庭、職場、地域における性別による固定的役割分担や性差別の意識」(38.3%)、「家族の支援や協力が得られない」(34.3%)などとなっている。

図表 2-(7)-1 企画立案や方針決定の過程に指導的立場の女性が少ない理由

		回答数
全体	100.0	1,639 人
(1) 家庭、職場、地域における性別による固定的役割分担や性差別の意識	38.3	628 人
(2) 男性優位の組織運営	54.3	890 人
(3) 家族の支援や協力が得られない	34.3	562 人
(4) 女性の能力開発やキャリアアップの機会が不十分	28.9	473 人
(5) 女性の活動を支援するネットワークの不足	20.4	335 人
(6) 女性側の積極性が十分でない	27.0	443 人
(7) 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない	38.4	630 人
(8) その他	2.9	48 人
(9) わからない	10.0	164 人
無回答	3.0	49 人

グラフ単位：(%)



**(8)男女共同参画社会を形成していくために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきか**

問10 あなたは、男女共同参画社会を形成していくために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

【回答者数=1,639】

1	法律や制度の面で見直しを行う	26.1%
2	女性を政策・方針決定の場に積極的に登用する	36.5%
3	企業や地域社会の女性のリーダーを養成する	34.7%
4	職場における男女の均等な待遇の確保について周知徹底を行う	30.3%
5	女性の就労の機会を増やしたり、従来女性が就労していなかった分野への女性の進出を促進するための職業教育や職業訓練を充実する	37.6%
6	保育の施設やサービス、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	58.3%
7	学校や社会教育、生涯学習の場で男女平等と相互理解や協力についての学習を充実する	24.9%
8	男女の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などの施設を整備・充実する	20.8%
9	各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する	9.3%
10	行政自身が率先して男女共同参画の取組みを行う	29.7%
11	その他（具体的に： )	2.7%
12	わからない	7.7%
	(無回答)	3.5%

男女共同参画社会を形成していくために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきかについて、「保育の施設やサービス、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」(58.3%)が最も多く、次いで「女性の就労の機会を増やしたり、従来女性が就労していなかった分野への女性の進出を促進するための職業教育や職業訓練を充実する」(37.6%)、「女性を政策・方針決定の場に積極的に登用する」(36.5%)、「企業や地域社会の女性のリーダーを養成する」(34.7%)などとなっている。

図表 2-(8)-1 男女共同参画社会を形成していくために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきか

		回答数
全体	100.0	1,639 人
(1) 法律や制度の面で見直しを行う	26.1	427 人
(2) 女性を政策・方針決定の場に積極的に登用する	36.5	599 人
(3) 企業や地域社会の女性のリーダーを養成する	34.7	568 人
(4) 職場における男女の均等な待遇の確保について周知徹底を行う	30.3	496 人
(5) 女性の就労の機会を増やしたり、従来女性が就労していなかった分野への女性の進出を促進するための職業教育や職業訓練を充実する	37.6	617 人
(6) 保育の施設やサービス、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	58.3	955 人
(7) 学校や社会教育、生涯学習の場で男女平等と相互理解や協力についての学習を充実する	24.9	408 人
(8) 男女の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などの施設を整備・充実する	20.8	341 人
(9) 各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する	9.3	152 人
(10) 行政自身が率先して男女共同参画の取組みを行う	29.7	487 人
(11) その他	2.7	44 人
(12) わからない	7.7	126 人
無回答	3.5	57 人

グラフ単位：(%)

### 3. 消費生活について

#### (1) 消費者問題に関心があるか

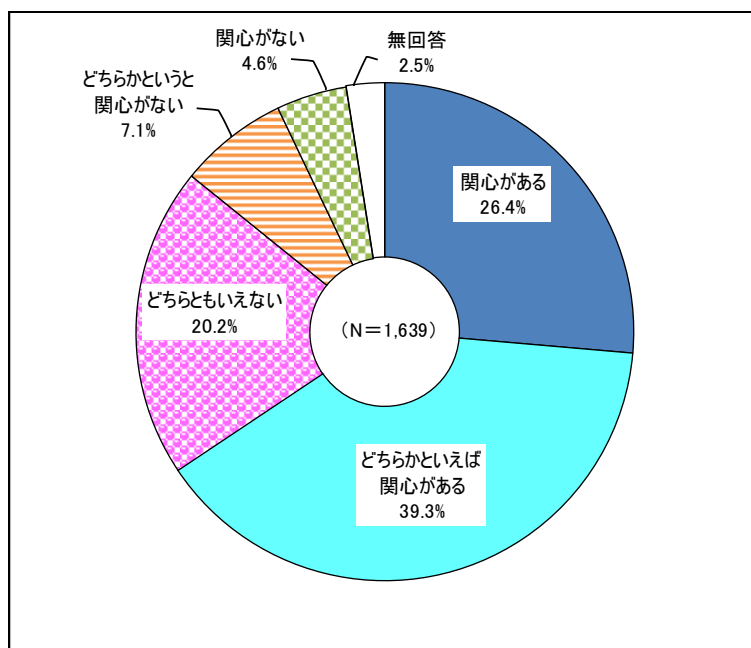
問11 消費者問題に関心がありますか。次に中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,639】

1 関心がある	⇒ 付問4にお進みください	26.4%
2 どちらかといえば関心がある	⇒ 付問4にお進みください	39.3%
3 どちらともいえない		20.2%
4 どちらかというに関心がない		7.1%
5 関心がない		4.6%
(無回答)		2.5%

消費者問題に関心があるかについて、「どちらかといえば関心がある」(39.3%)が最も多く、次いで「関心がある」(26.4%)、「どちらともいえない」(20.2%)、「どちらかというに関心がない」(7.1%)などとなっている。

図表 3-(1)-1 消費者問題に関心があるか



(2) 関心がある消費者問題

【問11で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問4 関心がある消費者問題はなんですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。【回答者数=1,076】

1	食品の安全性	85.4%
2	製品事故	35.8%
3	悪質商法	60.3%
4	詐欺	48.0%
5	資源・エネルギー	41.1%
6	環境	45.4%
7	金融	25.4%
8	多重債務	8.9%
9	その他（具体的に： )	0.8%
	(無回答)	0.5%

関心がある消費者問題について、「食品の安全性」(85.4%)が最も多く、次いで「悪質商法」(60.3%)、「詐欺」(48.0%)などとなっている。

図表 3-(2)-1 関心がある消費者問題

		回答数
全体	100.0	1,076 人
(1) 食品の安全性	85.4	919 人
(2) 製品事故	35.8	385 人
(3) 悪質商法	60.3	649 人
(4) 詐欺	48.0	517 人
(5) 資源・エネルギー	41.1	442 人
(6) 環境	45.4	488 人
(7) 金融	25.4	273 人
(8) 多重債務	8.9	96 人
(9) その他	0.8	9 人
無回答	0.5	5 人

グラフ単位：(%)

(3) 消費者トラブルにあった際の相談先

問12 消費者トラブルにあった際の相談先はどこですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

【回答者数=1,639】

1	商品・サービスの勧誘や販売を行う販売店や代理店など	39.8%
2	商品・サービスの提供元のメーカーのお客様相談窓口	54.2%
3	家族・知人・同僚など身近な人	33.1%
4	県や市町の消費生活センター等の行政機関の相談窓口	46.6%
5	警察	24.5%
6	弁護士や司法書士	7.6%
7	国民生活センター	31.1%
8	消費者団体	12.5%
9	その他（具体的に： )	0.7%
10	相談しない ⇒ 付問5にお進みください (無回答)	2.7% 5.7%

消費者トラブルにあった際の相談先について、「商品・サービスの提供元のメーカーのお客様相談窓口」(54.2%)が最も多く、次いで「県や市町の消費生活センター等の行政機関の相談窓口」(46.6%)、「商品・サービスの勧誘や販売を行う販売店や代理店など」(39.8%)などとなっている。

図表 3-(3)-1 消費者トラブルにあった際の相談先

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	1,639 人
(1) 商品・サービスの勧誘や販売を行う販売店や代理店など	39.8	653 人
(2) 商品・サービスの提供元のメーカーのお客様相談窓口	54.2	888 人
(3) 家族・知人・同僚など身近な人	33.1	543 人
(4) 県や市町の消費生活センター等の行政機関の相談窓口	46.6	764 人
(5) 警察	24.5	401 人
(6) 弁護士や司法書士	7.6	125 人
(7) 国民生活センター	31.1	510 人
(8) 消費者団体	12.5	205 人
(9) その他	0.7	12 人
(10) 相談しない	2.7	44 人
無回答	5.7	94 人

グラフ単位：(%)

(4) 相談しなかった理由

【問12で「10」と答えた方にお聞きします】

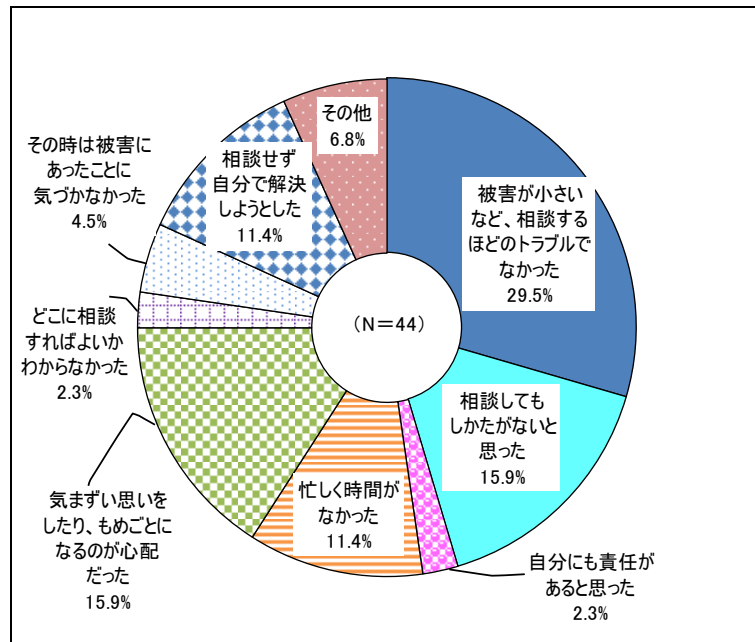
付問5 相談しなかった理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=44】

1	被害が小さいなど、相談するほどのトラブルでなかった	29.5%
2	相談してもしかたがないと思った	15.9%
3	自分にも責任があると思った	2.3%
4	忙しく時間がなかった	11.4%
5	気まずい思いをしたり、もめごとになるのが心配だった	15.9%
6	恥ずかしいので、誰にも言えなかった	0.0%
7	どこに相談すればよいかわからなかった	2.3%
8	その時は被害にあったことに気づけなかった	4.5%
9	相談せず自分で解決しようとした	11.4%
10	その他（具体的に： （無回答）	6.8%

相談しなかった理由について、「被害が小さいなど、相談するほどのトラブルでなかった」（29.5%）が最も多く、次いで「相談してもしかたがないと思った」「気まずい思いをしたり、もめごとになるのが心配だった」（ともに15.9%）、「忙しく時間がなかった」「相談せず自分で解決しようとした」（ともに11.4%）などとなっている。

図表 3-(4)-1 相談しなかった理由



(5) 消費者教育を受けた経験の有無

問13 消費者教育(学校の授業、各種講座や出前講座等)を受けた経験がありますか。

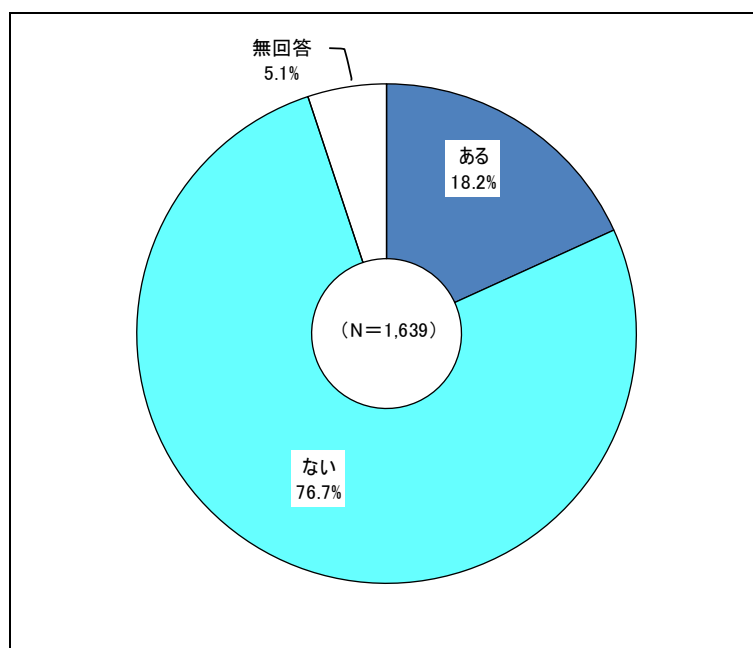
次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,639】

1	ある	18.2%
2	ない	76.7%
	(無回答)	5.1%

消費者教育を受けた経験の有無について、「ある」(18.2%)、「ない」(76.7%)となっている。

図表 3-(5)-1 消費者教育を受けた経験の有無



(6)どのような消費者教育を受けたか

【問13で「1」と答えた方にお聞きします】

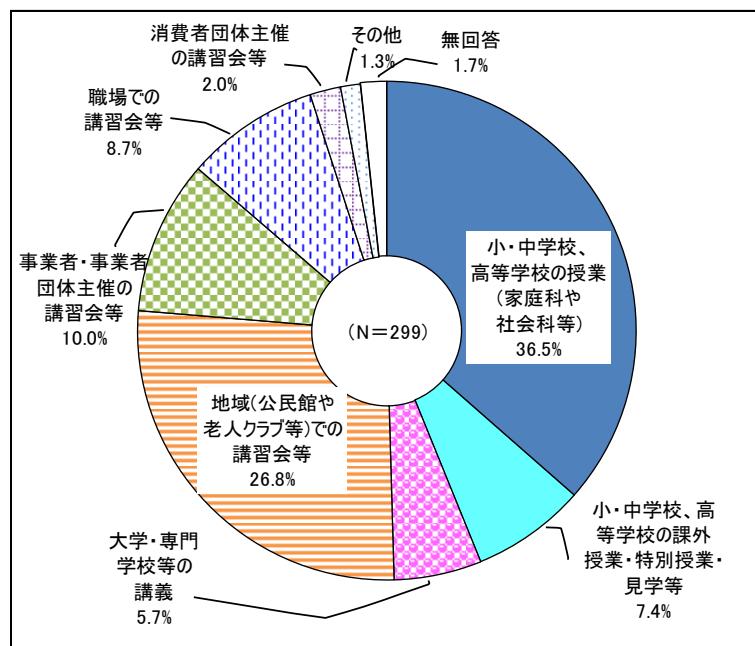
付問6 あなたは、どのような消費者教育を受けましたか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=299】

1	小・中学校、高等学校の授業(家庭科や社会科等)	36.5%
2	小・中学校、高等学校の課外授業・特別授業・見学等	7.4%
3	大学・専門学校等の講義	5.7%
4	地域(公民館や老人クラブ等)での講習会等	26.8%
5	事業者・事業者団体主催の講習会等	10.0%
6	職場での講習会等	8.7%
7	消費者団体主催の講習会等	2.0%
8	その他(具体的に： )	1.3%
	(無回答)	1.7%

どのような消費者教育を受けたかについて、「小・中学校、高等学校の授業(家庭科や社会科等)」(36.5%)が最も多く、次いで「地域(公民館や老人クラブ等)での講習会等」(26.8%)、「事業者・事業者団体主催の講習会等」(10.0%)、「職場での講習会等」(8.7%)などとなっている。

図表 3-(6)-1 どのような消費者教育を受けたか





## 4. 食品廃棄物について

### (1) 食品ロスという言葉の認知度

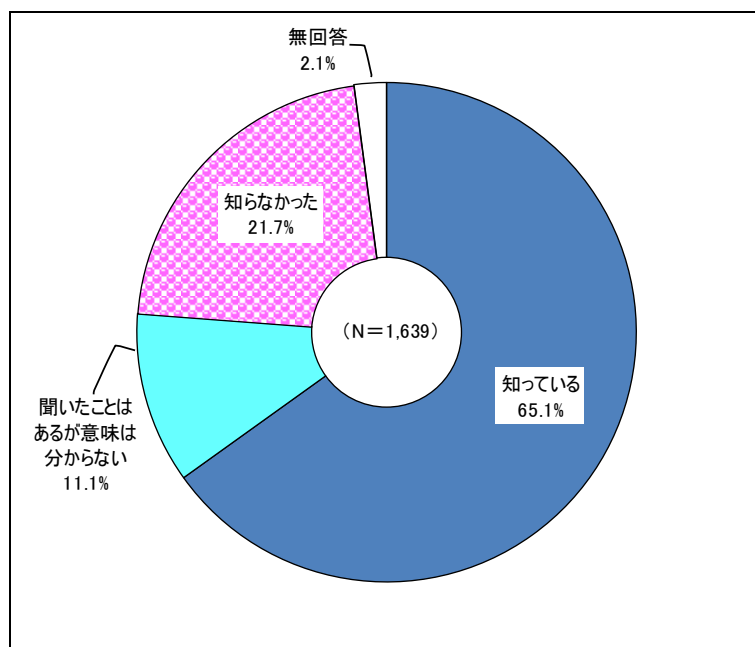
問14 食品ロスという言葉を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,639】

1 知っている	65.1%
2 聞いたことはあるが意味は分からない	11.1%
3 知らなかった	21.7%
(無回答)	2.1%

食品ロスという言葉の認知度について、「知っている」(65.1%)が最も多く、次いで「知らなかった」(21.7%)、「聞いたことはあるが意味は分からない」(11.1%)などとなっている。

図表 4-(1)-1 食品ロスという言葉の認知度



(2) 家庭から出される食品ロスであなたがよく出してしまうもの

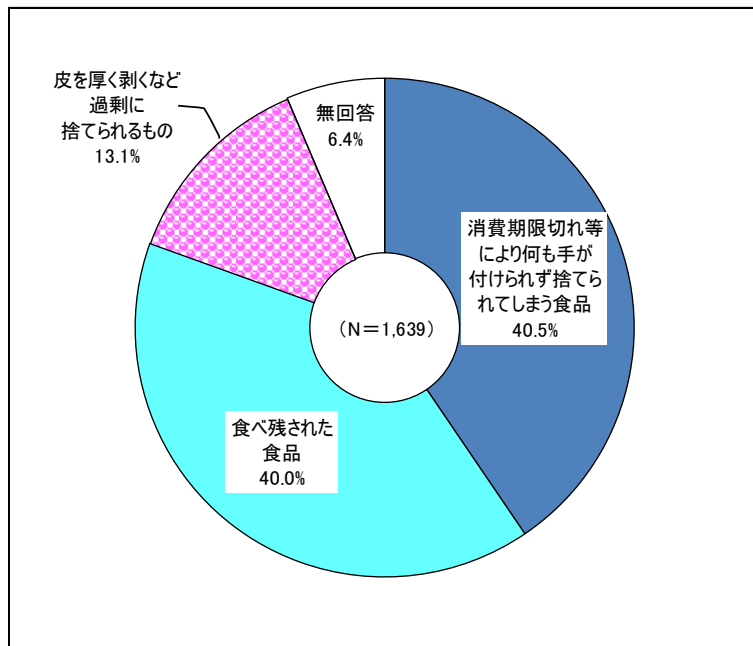
問15 家庭から出される食品ロスには、「消費期限切れ等により何も手が付けられず捨てられてしまう食品」、「食べ残された食品」、「皮を厚く剥くなど過剰に捨てられるもの」の3種類がありますが、あなたがよく出してしまうものは何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,639】

1 消費期限切れ等により何も手が付けられず捨てられてしまう食品	40.5%
2 食べ残された食品	40.0%
3 皮を厚く剥くなど過剰に捨てられるもの	13.1%
(無回答)	6.4%

家庭から出される食品ロスでよく出してしまうものについて、「消費期限切れ等により何も手が付けられず捨てられてしまう食品」(40.5%)が最も多く、次いで「食べ残された食品」(40.0%)、「皮を厚く剥くなど過剰に捨てられるもの」(13.1%)、などとなっている。

図表 4-(2)-1 家庭から出される食品ロスであなたがよく出してしまうもの



**(3) 食品ロス削減の取組みについての考え**

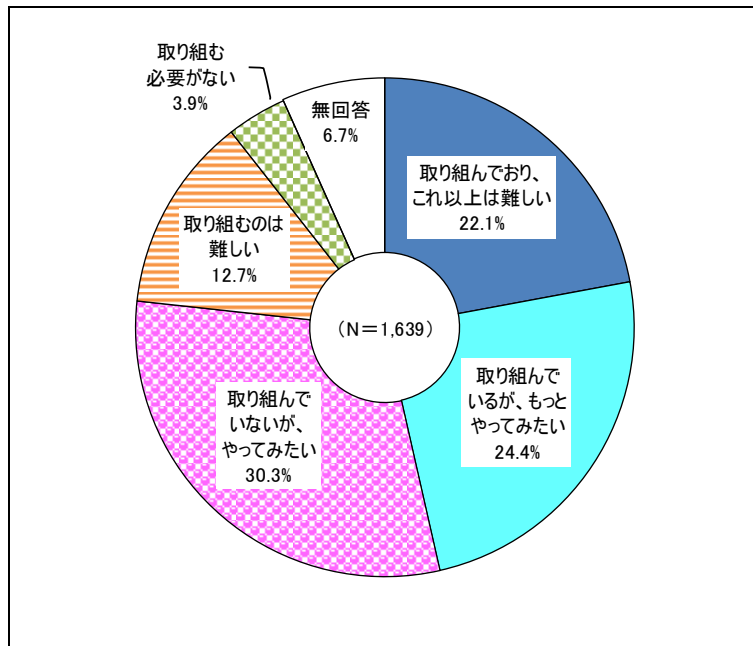
問16 食品ロス削減の取組みについてどう考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,639】

1 取り組んでおり、これ以上は難しい	⇒ 付問7にお進みください	22.1%
2 取り組んでいるが、もっとやってみたい	⇒ 付問7、8にお進みください	24.4%
3 取り組んでいないが、やってみたい	⇒ 付問8にお進みください	30.3%
4 取り組むのは難しい	⇒ 付問9にお進みください	12.7%
5 取り組む必要がない (無回答)	⇒ 付問10にお進みください	3.9% 6.7%

食品ロス削減の取組みについての考えについては、「取り組んでいないが、やってみたい」(30.3%)が最も多く、次いで「取り組んでいるが、もっとやってみたい」(24.4%)、「取り組んでおり、これ以上は難しい」(22.1%)、「取り組むのは難しい」(12.7%)などとなっている。

**図表 4-(3)-1 食品ロス削減の取組みについての考え**



#### (4) 外食時の食べ残しの有無

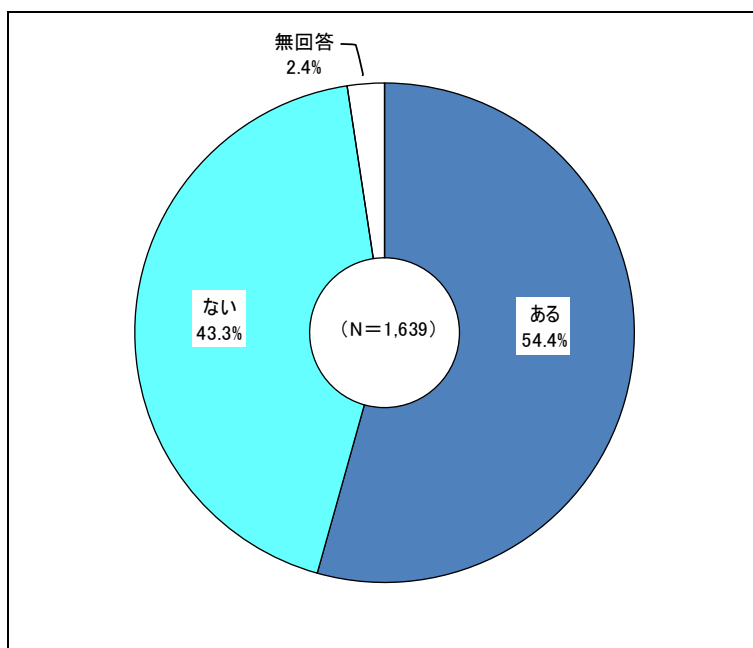
問17 外食時に食べ残したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,639】

1	ある	⇒付問11にお進みください	54.4%
2	ない		43.3%
	(無回答)		2.4%

外食時の食べ残しの有無について、「ある」(54.4%)が過半数を占めるものの、「ない」(43.3%)も4割を超えている。

図表 4-(4)-1 外食時の食べ残しの有無



(5) 外食時に食べ残した理由

【問17で「1」と答えた方にお聞きします】

付問11 外食時に食べ残した理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

【回答者数=891】

1	ボリュームが多くて、食べ切れなかった	76.8%
2	食べられないものが含まれていた(苦手な食材やアレルギー)	26.2%
3	飽きた	1.5%
4	味が好みでなかった	31.3%
5	その他(具体的に： (無回答)	4.6% 1.0%

外食時に食べ残した理由について、「ボリュームが多くて、食べ切れなかった」(76.8%)が最も多く、次いで「味が好みでなかった」(31.3%)、「食べられないものが含まれていた(苦手な食材やアレルギー)」(26.2%)などとなっている。

図表 4-(5)-1 外食時に食べ残した理由

	回答数
全体	1000 891 人
(1) ボリュームが多くて、食べ切れなかった	76.8 684 人
(2) 食べられないものが含まれていた(苦手な食材やアレルギー)	26.2 233 人
(3) 飽きた	1.5 13 人
(4) 味が好みでなかった	31.3 279 人
(5) その他	4.6 41 人
無回答	1.0 9 人

グラフ単位：(%)

(6) 外食時の食べ残しを減らす取組みについて、効果があると思われるもの

問18 外食時の食べ残しを減らす取組みについて、効果があると思われるものはどれですか。次の中からあてはまるもの3つ選んでください。

【回答者数=1,639】

1	同じメニューでもボリュームが選べるようにする(ハーフサイズ等)	76.6%
2	食べ残したものを持ち帰ることができる	66.7%
3	食べ残した場合は追加料金を徴収する仕組みがある	9.8%
4	こまめに注文する(注文しすぎない)	52.7%
5	宴会時、席に着いて食べる時間を設ける	18.5%
6	メニューに使用している食材の記載がある	18.1%
7	その他(具体的に：)	2.9%
	(無回答)	5.1%

外食時の食べ残しを減らす取組みで、効果があると思われるものについて、「同じメニューでもボリュームが選べるようにする(ハーフサイズ等)」(76.6%)が最も多く、次いで「食べ残したものを持ち帰ることができる」(66.7%)、「こまめに注文する(注文しすぎない)」(52.7%)、「宴会時、席に着いて食べる時間を設ける」(18.5%)などとなっている。

図表 4-(6)-1 外食時の食べ残しを減らす取組みについて、効果があると思われるもの

		回答数
全体	100.0	1,639 人
(1) 同じメニューでもボリュームが選べるようにする(ハーフサイズ等)	76.6	1,255 人
(2) 食べ残したものを持ち帰ることができる	66.7	1,094 人
(3) 食べ残した場合は追加料金を徴収する仕組みがある	9.8	161 人
(4) こまめに注文する(注文しすぎない)	52.7	863 人
(5) 宴会時、席に着いて食べる時間を設ける	18.5	304 人
(6) メニューに使用している食材の記載がある	18.1	296 人
(7) その他	2.9	48 人
無回答	5.1	84 人

グラフ単位：(%)

## 5. 高齢者の保健福祉について

### (1) 介護保険のあり方について、あなたの考えに最も近いもの

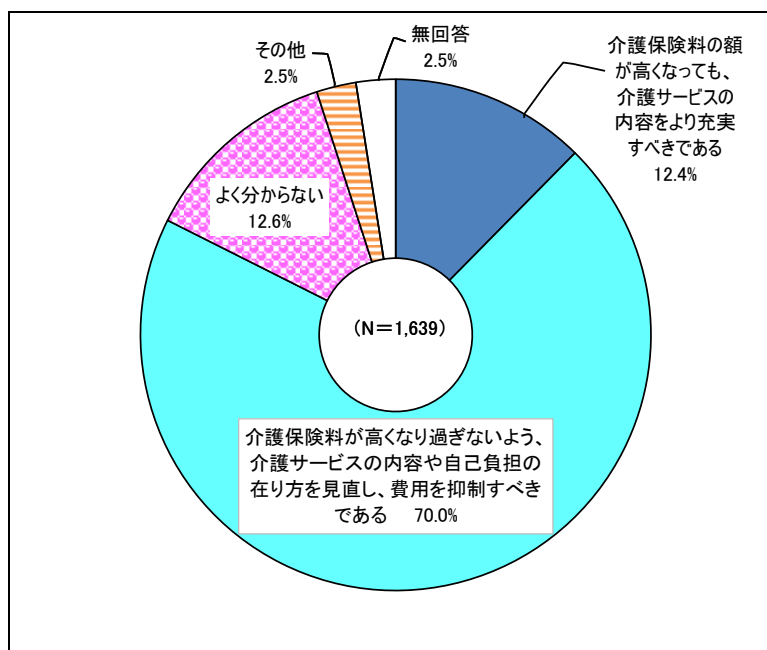
問19 介護サービスを利用する人が増えたり、1人あたりのサービス利用額が増えたりすると、各市町において、3年ごとに定める介護保険料の額は高くなる仕組みになっています。このことを踏まえたうえで、介護保険のあり方について、あなたの考え方に最も近いものを、次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,639】

- |  |              |
|--|--------------|
| 1 介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである                  | 12.4%        |
| 2 介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである | 70.0%        |
| 3 よく分からない  | 12.6%        |
| 4 その他（具体的に：<br>（無回答）                                   | 2.5%<br>2.5% |

介護保険のあり方について、あなたの考えに最も近いものについて、「介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである」（70.0%）が最も多く、次いで「よく分からない」（12.6%）、「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」（12.4%）などとなっている。

図表 5-(1)-1 介護保険のあり方について、あなたの考えに最も近いもの



(2) 将来の住まいと介護サービスの利用について、あなたの考えに最も近いもの

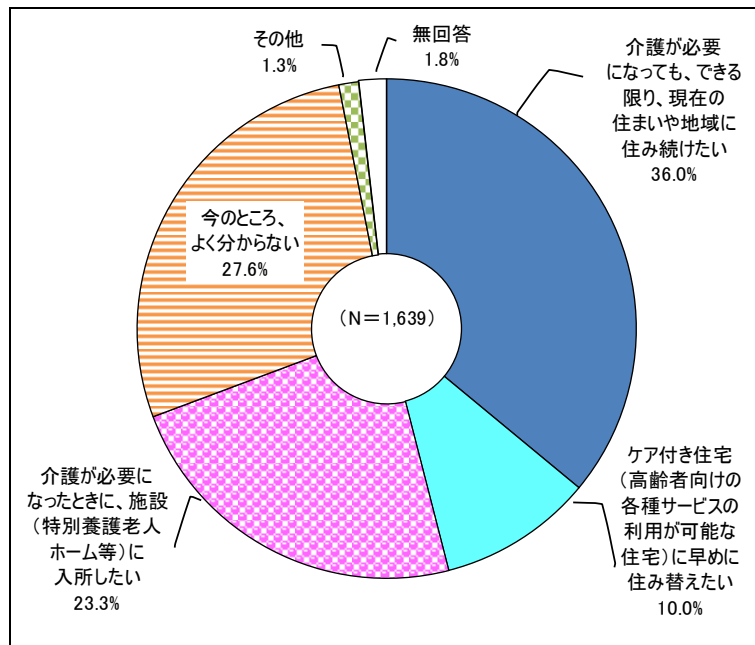
問20 将来の住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,639】

- |                |   |       |
|----------------|---|-------|
| 1              | 介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい       | 36.0% |
| 2              | ケア付き住宅（高齢者向けの各種サービスの利用が可能な住宅）に早めに住み替えたい | 10.0% |
| 3              | 介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム等）に入所したい       | 23.3% |
| ⇒ 付問12にお進みください |   |       |
| 4              | 今のところ、よく分からない                           | 27.6% |
| 5              | その他（具体的に：                               | 1.3%  |
|                | （無回答）                                   | 1.8%  |

将来の住まいと介護サービスの利用について、あなたの考えに最も近いものについて、「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」（36.0%）が最も多く、次いで「今のところ、よく分からない」（27.6%）、「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム等）に入所したい」（23.3%）、「ケア付き住宅（高齢者向けの各種サービスの利用が可能な住宅）に早めに住み替えたい」（10.0%）などとなっている。

図表 5-(2)-1 将来の住まいと介護サービスの利用について、あなたの考えに最も近いもの





**(3) 施設入所を希望される理由**

【問20で「3」と答えた方にお聞きします】

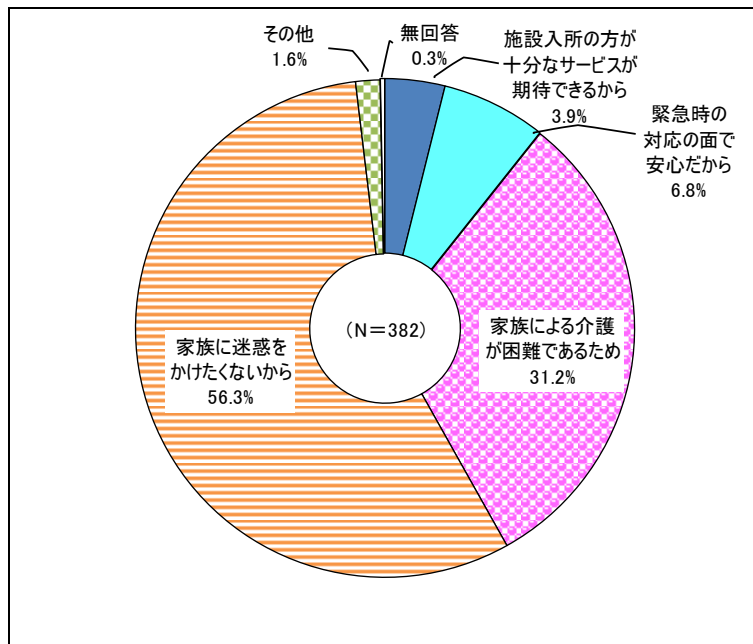
付問12 施設入所を希望される理由について教えてください。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=382】

1 施設入所の方が十分なサービスが期待できるから	3.9%
2 緊急時の対応の面で安心だから	6.8%
3 家族による介護が困難であるため	31.2%
4 家族に迷惑をかけたくないから	56.3%
5 その他（具体的に： （無回答）	1.6% 0.3%

施設入所を希望される理由について、「家族に迷惑をかけたくないから」(56.3%)が最も多く、次いで「家族による介護が困難であるため」(31.2%)、「緊急時の対応の面で安心だから」(6.8%)、「施設入所の方が十分なサービスが期待できるから」(3.9%)などとなっている。

**図表 5-(3)-1 施設入所を希望される理由**



(4)一人暮らしの高齢者などへの手助けについて、あなたの考えに最も近いもの

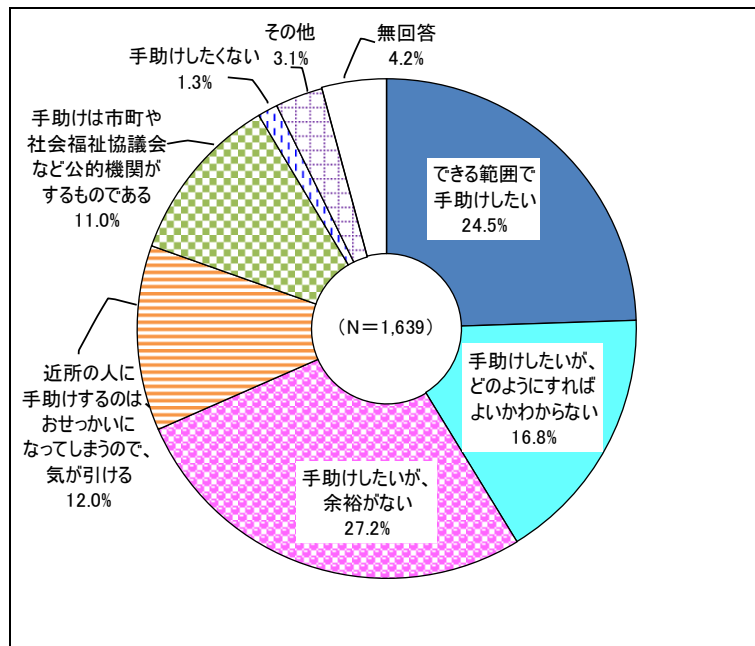
問21 地域で何らかの日常生活上の支援を必要としている一人暮らしの高齢者などへの手助けについて、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

【回答者数=1,639】

1	できる範囲で手助けしたい	24.5%
2	手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない	16.8%
3	手助けしたいが、余裕がない	27.2%
4	近所の人に手助けするのは、おせっかいになってしまうので、気が引ける	12.0%
5	手助けは市町や社会福祉協議会など公的機関がするものである	11.0%
6	手助けしたくない	1.3%
7	その他（具体的に：	） 3.1%
	（無回答）	4.2%

一人暮らしの高齢者などへの手助けについて、あなたの考えに最も近いものについて、「手助けしたいが、余裕がない」(27.2%)が最も多く、次いで「できる範囲で手助けしたい」(24.5%)、「手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない」(16.8%)、「近所の人に手助けするのは、おせっかいになってしまうので、気が引ける」(12.0%)などとなっている。

図表 5-(4)-1 一人暮らしの高齢者などへの手助けについて、あなたの考えに最も近いもの



(5) 認知症施策で関心のあること

問22 認知症施策で関心のあることはどれですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

【回答者数=1,639】

1	認知症に関する正しい知識と理解の啓発・情報提供	45.5%
2	認知症の予防に向けた取組み	57.6%
3	できるだけ早い段階からの医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり	41.9%
4	認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	47.5%
5	認知症を治せる薬や治療法の開発	53.8%
6	認知症の人が利用できる介護施設の充実	45.1%
7	家族の身体的・精神的負担を減らす取組み	60.2%
8	家族の仕事と介護の両立支援などを含めた経済的負担を減らす取組み	51.8%
9	認知症の人を地域で見守る体制の充実	33.7%
10	悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取組み	28.0%
11	日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実	16.9%
12	その他（具体的に： )	0.9%
13	特にない	1.3%
14	わからない	2.0%
	(無回答)	2.8%

認知症施策で関心のあることについて、「家族の身体的・精神的負担を減らす取組み」(60.2%)が最も多く、次いで「認知症の予防に向けた取組み」(57.6%)、「認知症を治せる薬や治療法の開発」(53.8%)、「家族の仕事と介護の両立支援などを含めた経済的負担を減らす取組み」(51.8%) などとなっている。

図表 5-(5)-1 認知症施策に関心のあること

		回答数
全体	100.0	1,639 人
(1) 認知症に関する正しい知識と理解の啓発・情報提供	45.5	746 人
(2) 認知症の予防に向けた取組み	57.6	944 人
(3) できるだけ早い段階からの医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり	41.9	687 人
(4) 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	47.5	778 人
(5) 認知症を治せる薬や治療法の開発	53.8	882 人
(6) 認知症の人が利用できる介護施設の充実	45.1	739 人
(7) 家族の身体的・精神的負担を減らす取組み	60.2	987 人
(8) 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた経済的負担を減らす取組み	51.8	849 人
(9) 認知症の人を地域で見守る体制の充実	33.7	552 人
(10) 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取組み	28.0	459 人
(11) 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実	16.9	277 人
(12) その他	0.9	14 人
(13) 特にない	1.3	22 人
(14) わからない	2.0	33 人
無回答	2.8	46 人

グラフ単位：(%)

**(6) 今後も高齢化が進行していく社会において、あなたが重要と思われる方策**

問23 今後も高齢化が進行していく社会において、あなたが重要と思われる方策を次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

【回答者数=1,639】

1	健康づくりや介護予防	58.4%
2	高齢者活躍の場の確保（活躍の場への誘導）	44.7%
3	地域で支え合う体制の充実	40.3%
4	介護サービスの質の向上	41.8%
5	介護サービス施設などの量的充実	47.1%
6	住宅や交通などの住環境の充実	32.1%
7	地域医療の充実	40.9%
8	災害時の援護体制の整備	29.3%
9	交通安全の確保	18.3%
10	犯罪被害の防止	21.4%
11	高齢者虐待の防止	20.6%
12	認知症高齢者施策の推進	37.9%
	（無回答）	3.3%

今後も高齢化が進行していく社会において、あなたが重要と思われる方策について、「健康づくりや介護予防」（58.4%）が最も多く、次いで「介護サービス施設などの量的充実」（47.1%）、「高齢者活躍の場の確保（活躍の場への誘導）」（44.7%）、「介護サービスの質の向上」（41.8%）などとなっている。

図表 5-(6)-1 今後も高齢化が進行していく社会において、あなたが重要と思われる方策

		回答数
全体	100.0	1,639 人
(1) 健康づくりや介護予防	58.4	957 人
(2) 高齢者活躍の場の確保(活躍の場への誘導)	44.7	732 人
(3) 地域で支え合う体制の充実	40.3	660 人
(4) 介護サービスの質の向上	41.8	685 人
(5) 介護サービス施設などの量的充実	47.1	772 人
(6) 住宅や交通などの住環境の充実	32.1	526 人
(7) 地域医療の充実	40.9	671 人
(8) 災害時の援護体制の整備	29.3	480 人
(9) 交通安全の確保	18.3	300 人
(10) 犯罪被害の防止	21.4	351 人
(11) 高齢者虐待の防止	20.6	337 人
(12) 認知症高齢者施策の推進	37.9	622 人
無回答	3.3	54 人

グラフ単位：(%)

## 6. 県政の重要度と満足度について

県では、平成28年度からの新たな香川づくりの指針として、「新・せとうち田園都市創造計画」※を策定し、「成長する香川」、「信頼・安心の香川」、「笑顔で暮らせる香川」の3つの基本方針のもと、さまざまな施策に取り組んでいます。

この計画を着実に推進し、県民の皆さまのニーズ(要望)に対応した県政を進めるためには、皆さまが「県行政に対して何を求めているのか」、「現在の状況にどのくらい満足しているのか」を知り、それを県政に反映させていくことが重要となります。

そこで、この計画で展開することとしている24の分野を対象に、皆さまが考える重要度と満足度についてお伺いします。以下の質問にお答えください。

「重要度」については、今の生活やこれからの生活を送っていくうえでどのくらい重要かを、また、「満足度」については、現状にどのくらい満足しているかを、それぞれ5段階で評価してください。

### ※「新・せとうち田園都市創造計画」

本県の進むべき基本的方向とそれを実現するための方策を明らかにした県政運営の基本指針で、計画期間は平成28年度から平成32年度の5年間です。

この計画では、「せとうち田園都市の新たな創造」を基本目標に掲げ、「成長する香川」、「信頼・安心の香川」、「笑顔で暮らせる香川」の3つの基本方針のもと、人口減少の克服や地域活力の向上につながる効果的な施策に重点的に取り組み、人口の社会増を伴う、魅力ある瀬戸内香川の生活圏域づくりをめざしています。

(1)成長する香川（重要度）

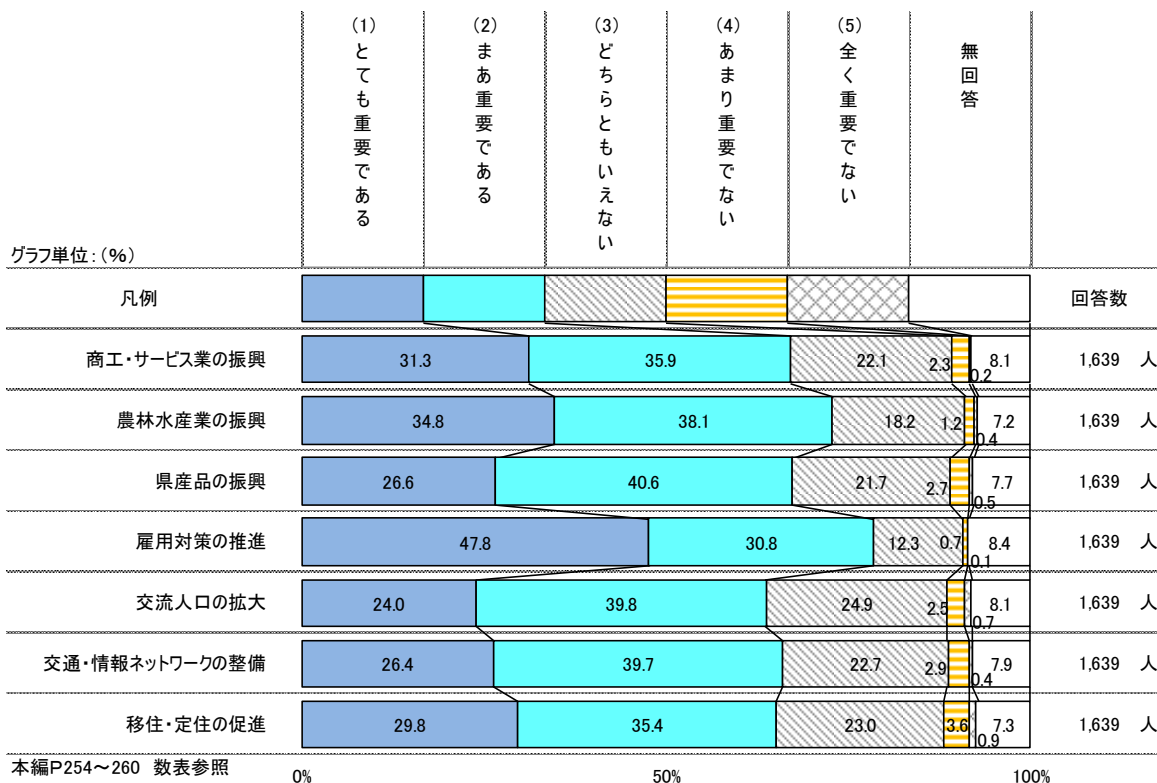
問24 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「成長する香川」についておたずねします。  
 「成長する香川」の実現に向けて展開している1～7の分野について、あなたの<重要度>を、  
 それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

【回答者数=1,639】

項 目	重要度					
	① とても 重要である	② まあ 重要である	③ どちらとも いえ ない	④ あまり 重要でない	⑤ 全く 重要でない	無 回 答
1 商工・サービス業の振興	31.3	35.9	22.1	2.3	0.2	8.1
2 農林水産業の振興	34.8	38.1	18.2	1.2	0.4	7.2
3 県産品の振興	26.6	40.6	21.7	2.7	0.5	7.7
4 雇用対策の推進	47.8	30.8	12.3	0.7	0.1	8.4
5 交流人口の拡大	24.0	39.8	24.9	2.5	0.7	8.1
6 交通・情報ネットワークの整備	26.4	39.7	22.7	2.9	0.4	7.9
7 移住・定住の促進	29.8	35.4	23.0	3.6	0.9	7.3

「成長する香川」については、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた割合は、「雇用対策の推進」(78.6%)が最も多く、次いで「農林水産業の振興」(72.9%)となっている。

図表 6-(1) 成長する香川（重要度）





(2)成長する香川（満足度）

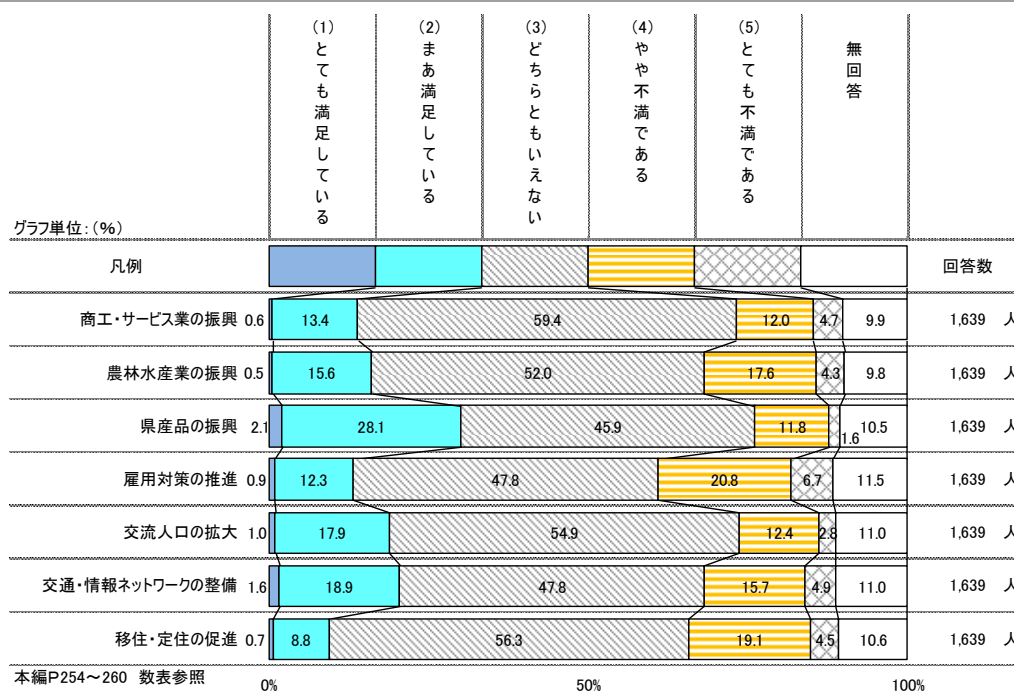
問24 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「成長する香川」についておたずねします。  
 「成長する香川」の実現に向けて展開している1～7の分野について、あなたの<満足度>を、  
 それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

【回答者数=1,639】

項 目	満足度					無回答
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	
1 商工・サービス業の振興	0.6	13.4	59.4	12.0	4.7	9.9
2 農林水産業の振興	0.5	15.6	52.0	17.6	4.3	9.8
3 県産品の振興	2.1	28.1	45.9	11.8	1.6	10.5
4 雇用対策の推進	0.9	12.3	47.8	20.8	6.7	11.5
5 交流人口の拡大	1.0	17.9	54.9	12.4	2.8	11.0
6 交通・情報ネットワークの整備	1.6	18.9	47.8	15.7	4.9	11.0
7 移住・定住の促進	0.7	8.8	56.3	19.1	4.5	10.6

「成長する香川」については、「県産品の振興」と「交流人口の拡大」を除く各分野において、「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた【不満である】が「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】を上回っており、その中でも「雇用対策の推進」と「移住・定住の促進」においてその差が大きくなっている。

図表 6-(2) 成長する香川（満足度）



(3)信頼・安心の香川（重要度）

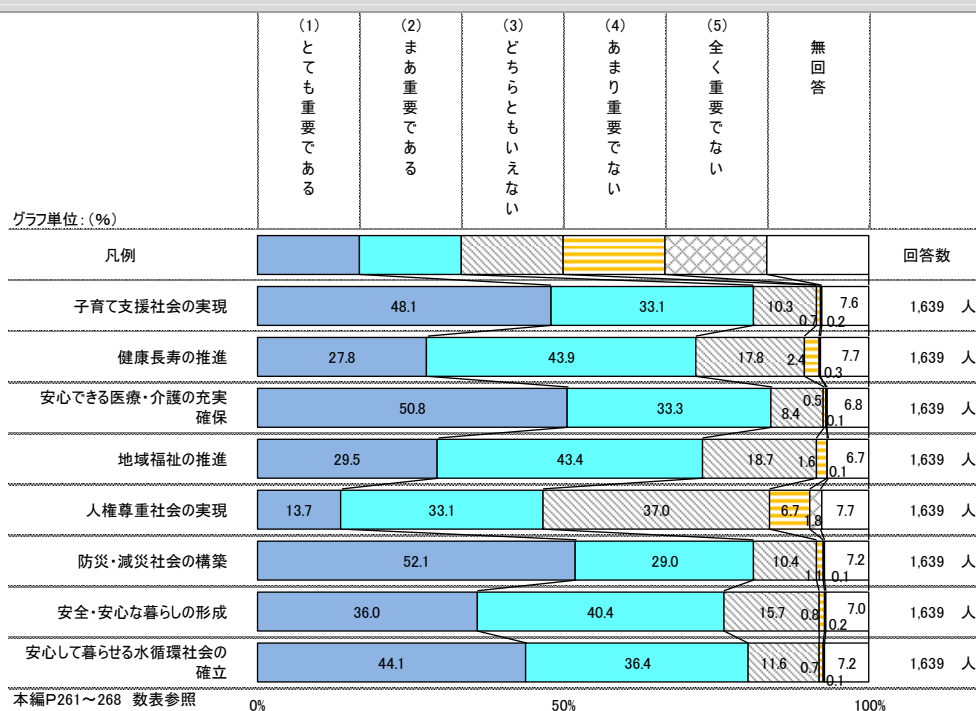
問25 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「信頼・安心の香川」についておたずねします。「信頼・安心の香川」の実現に向けて展開している8～15の分野について、あなたの<重要度>を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

【回答者数=1,639】

項目	重要度					
	①とても重要である	②まあ重要である	③どちらともいえない	④あまり重要でない	⑤全く重要でない	無回答
8 子育て支援社会の実現	48.1	33.1	10.3	0.7	0.2	7.6
9 健康長寿の推進	27.8	43.9	17.8	2.4	0.3	7.7
10 安心できる医療・介護の充実確保	50.8	33.3	8.4	0.5	0.1	6.8
11 地域福祉の推進	29.5	43.4	18.7	1.6	0.1	6.7
12 人権尊重社会の実現	13.7	33.1	37.0	6.7	1.8	7.7
13 防災・減災社会の構築	52.1	29.0	10.4	1.1	0.1	7.2
14 安全・安心な暮らしの形成	36.0	40.4	15.7	0.8	0.2	7.0
15 安心して暮らせる水循環社会の確立	44.1	36.4	11.6	0.7	0.1	7.2

「信頼・安心の香川」については、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた割合は、「安心できる医療・介護の充実確保」（84.1%）が最も多く、次いで「子育て支援社会の実現」（81.2%）となっている。

図表 6-(3) 信頼・安心の香川（重要度）



(4)信頼・安心の香川（満足度）

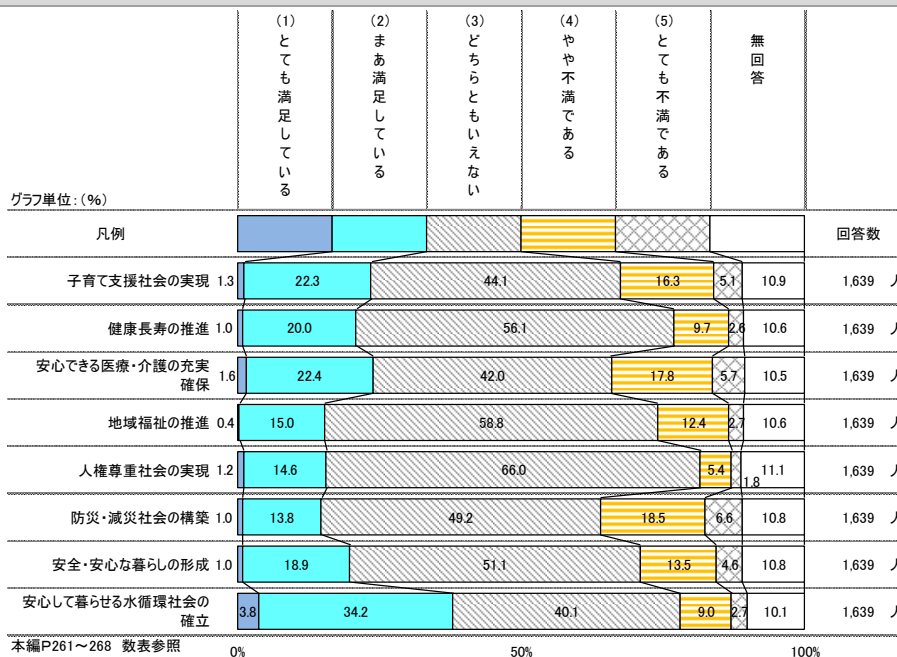
問25 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「信頼・安心の香川」についておたずねします。「信頼・安心の香川」の実現に向けて展開している8～15の分野について、あなたの＜満足度＞を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

【回答者数=1,639】

項目	満足度					無回答
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	
8 子育て支援社会の実現	1.3	22.3	44.1	16.3	5.1	10.9
9 健康長寿の推進	1.0	20.0	56.1	9.7	2.6	10.6
10 安心できる医療・介護の充実確保	1.6	22.4	42.0	17.8	5.7	10.5
11 地域福祉の推進	0.4	15.0	58.8	12.4	2.7	10.6
12 人権尊重社会の実現	1.2	14.6	66.0	5.4	1.8	11.1
13 防災・減災社会の構築	1.0	13.8	49.2	18.5	6.6	10.8
14 安全・安心な暮らしの形成	1.0	18.9	51.1	13.5	4.6	10.8
15 安心して暮らせる水循環社会の確立	3.8	34.2	40.1	9.0	2.7	10.1

「信頼・安心の香川」については、「防災・減災社会の構築」において、「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた【不満である】が「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】を上回っており、その他の各分野においては【満足している】が【不満である】を上回っている。

図表 6-(4) 信頼・安心の香川（満足度）



(5) 笑顔で暮らせる香川（重要度）

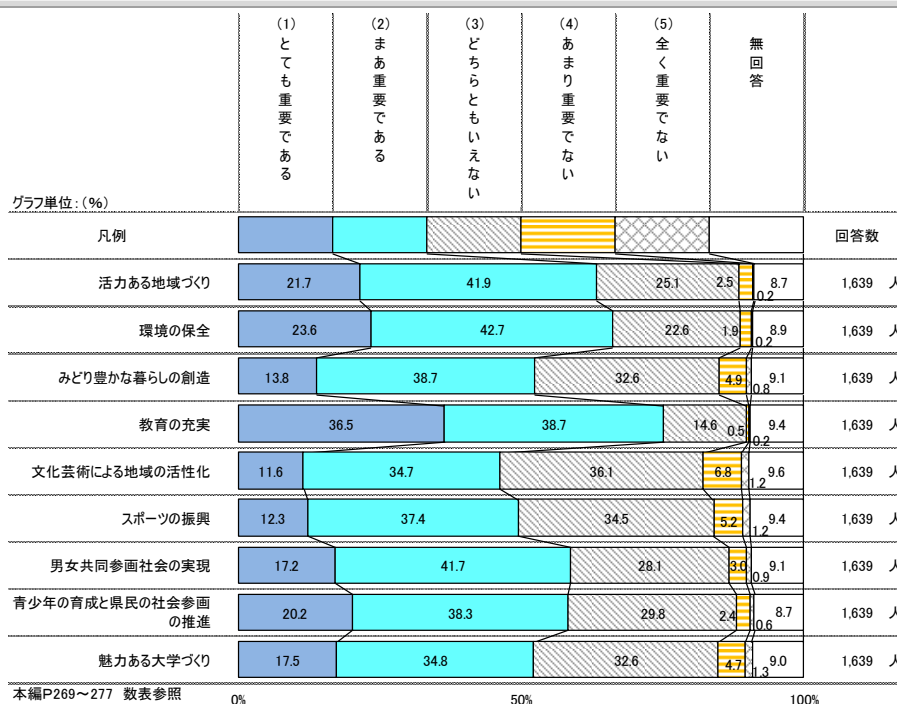
問26 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「笑顔で暮らせる香川」についておたずねします。「笑顔で暮らせる香川」の実現に向けて展開している16～24の分野について、あなたの＜重要度＞を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

【回答者数=1,639】

項目	重要度					
	①とても重要である	②まあ重要である	③どちらともいえない	④あまり重要でない	⑤全く重要でない	無回答
16 活力ある地域づくり	21.7	41.9	25.1	2.5	0.2	8.7
17 環境の保全	23.6	42.7	22.6	1.9	0.2	8.9
18 みどり豊かな暮らしの創造	13.8	38.7	32.6	4.9	0.8	9.1
19 教育の充実	36.5	38.7	14.6	0.5	0.2	9.4
20 文化芸術による地域の活性化	11.6	34.7	36.1	6.8	1.2	9.6
21 スポーツの振興	12.3	37.4	34.5	5.2	1.2	9.4
22 男女共同参画社会の実現	17.2	41.7	28.1	3.0	0.9	9.1
23 青少年の育成と県民の社会参画の推進	20.2	38.3	29.8	2.4	0.6	8.7
24 魅力ある大学づくり	17.5	34.8	32.6	4.7	1.3	9.0

「笑顔で暮らせる香川」については、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた割合は、「教育の充実」（75.2%）が最も多く、次いで「環境の保全」（66.3%）となっている。

図表 6-(5) 笑顔で暮らせる香川（重要度）



(6) 笑顔で暮らせる香川（満足度）

問26 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「笑顔で暮らせる香川」についておたずねします。「笑顔で暮らせる香川」の実現に向けて展開している16～24の分野について、あなたの＜満足度＞を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

【回答者数=1,639】

項目	満足度					無回答
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	
16 活力ある地域づくり	0.7	13.5	60.7	11.4	2.4	11.3
17 環境の保全	0.8	15.8	60.0	9.6	2.0	11.8
18 みどり豊かな暮らしの創造	1.3	21.2	58.1	5.4	1.8	12.1
19 教育の充実	1.0	22.9	48.6	12.1	2.7	12.6
20 文化芸術による地域の活性化	2.9	21.1	57.2	4.9	1.6	12.3
21 スポーツの振興	1.3	16.6	60.8	7.2	1.8	12.3
22 男女共同参画社会の実現	0.8	11.2	62.4	11.9	1.9	11.9
23 青少年の育成と県民の社会参画の推進	0.6	12.2	65.2	8.5	1.6	11.9
24 魅力ある大学づくり	1.1	11.1	61.9	10.6	3.4	11.9

「笑顔で暮らせる香川」については、「男女共同参画社会の実現」と「魅力ある大学づくり」において、「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた【不満である】が「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】を上回っており、その他の各分野においては【満足している】が【不満である】を上回っている。

図表 6-(6) 笑顔で暮らせる香川（満足度）

